

授 業 概 要

【社会学類授業科目案内】
(シラバス・各主専攻別履修ガイド)

注意

今年度（平成27年度）から、専門基礎科目を除く専門科目のシラバスは、本冊子に掲載されていません。

それらはKdb（筑波大学教育課程編成支援システム）により閲覧して下さい。

<https://kdb.tsukuba.ac.jp/>



閲覧方法は本冊子に記載されています（閲覧マニュアル）。

・社会学類ホームページからも、Kdbやシラバスを見ることができます。

<http://shakai.tsukuba.ac.jp/>



平成27年度

目 次

第1部 社会学類生の年間スケジュール

学年暦（平成27年度）	2
社会学類学生の年間予定表	3

第2部 履修上の諸注意事項・科目番号一覧

履修上の諸注意事項・GPAの算出方法について	4
履修科目の登録の上限・学群学生の大学院授業科目履修について	5
早期卒業について・履修の原則	6
科目番号一覧	7

第3部 Kdbによる社会学類『開設授業科目一覧』 ・『シラバス』閲覧マニュアル

Kdbの使い方	8
A.『開設科目一覧』を見る手順	8
B.『シラバス』を見る手順	11

第4部 「社会学類の特色」および『専門基礎科目シラバス』

『社会学類の特色』・『専門基礎科目シラバス』	12
------------------------	----

第5部 各主専攻別履修ガイド： 『履修細則（別表）』および『履修ガイド』

履修の原則・履修細則の変更点	19
社会学主専攻について	21
履修細則	22
履修ガイド	25
法学主専攻について	26
履修細則	27
履修ガイド	30
政治学主専攻について	31
履修細則	33
履修ガイド	36
経済学主専攻について	37
履修細則	39
履修ガイド	42

付録 新旧対照表

第1部 社会学類生の年間スケジュール

学年暦（平成27年度）

春学期（4月1日～9月30日）	
学年開始	4月 1日（水）
春季休業	4月 1日（水）～ 4月 5日（日）
入学式	4月 6日（月）
新入生履修ガイダンス	4月 7日（火）
新入生オリエンテーション	4月 8日（水）～ 4月 9日（木）
春学期授業開始	4月10日（金）
春季スポーツ・デー	5月16日（土）～ 5月17日（日）
春A Bモジュール期末試験	6月25日（木）～ 7月 1日（水）
春A B Cモジュール期末試験	7月31日（金）～ 8月 6日（木）
春学期授業終了	8月 6日（木）
期末試験予備日	8月 7日（金）
夏季休業	8月 8日（土）～ 9月30日（水）
秋学期（10月1日～3月31日）	
秋学期入学式	9月下旬（予定）
秋学期授業開始	10月 1日（木）
筑波キャンパス電気設備点検（全学停電）	10月下旬（予定）
学園祭★1	11月 6日（金）～ 11月 8日（日）
秋季スポーツ・デー	11月14日（土）～ 11月15日（日）
秋A Bモジュール期末試験	12月22日（火）～ 12月28日（月） （ただし12月23日の休日に当たる期末試験は12月16日に繰り上げて行う）
冬季休業	12月29日（火）～ 1月 6日（水）
秋A B Cモジュール期末試験	2月10日（水）～ 2月16日（火） （ただし2月11日の休日に当たる期末試験は2月4日に繰り上げて行う）
期末試験予備日	2月17日（水）
秋学期授業終了	2月16日（火）
春季休業	2月18日（木）～ 3月31日（木）
卒業式	3月25日（金）
学年終了	3月31日（木）

（備考）

- ★1 学園祭の実施に伴い、11月6日（金）及び11月9日（月）の授業は臨時休講とする。
 - 2 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。
 - 3 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。
5月8日は振替え授業日とし、水曜日の授業を実施する。7月23日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。10月15日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。1月19日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
 - 4 学群の入学選抜の実施に伴う臨時休業は、準備及び後片付けに要する時間を含め、別に定める。
 - 5 平成24年度以前に8月又は12月に入学した者で標準修業年限で卒業する者に係る卒業日は、それぞれ7月25日、11月30日とする。
- ※ 学期(学期の区分) は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ(春A, 春B, 春C, 秋A, 秋B, 秋C)のモジュールで構成する。

社会学類学生 年間予定表

学 年	事 項	提出期間	対象学生
2 年次 (含秋学期入学者)	主専攻希望届提出 (注1)	秋 A B C モジュール 期末試験期間中	
3 年次 (含秋学期入学者)	卒業論文仮題目届提出	1 1 月の最終の 1 週間	社会学主専攻の学生のみ
4 年次	卒業論文題目届提出	5 月の最終の 1 週間	主専攻にかかわらず卒業論文提出者全員 (注2)
	卒業論文中間発表	1 0 月下旬 (予定)	社会学主専攻の学生のみ
	卒業論文題目変更届提出	1 1 月上旬	主専攻にかかわらず変更・追加のある学生のみ
	卒業論文提出	1 月第 4 月曜日から 水曜日	
4 年次 (春学期卒業予定者) (含秋学期入学者)	卒業論文題目届提出	5 月の最終の 1 週間	主専攻にかかわらず卒業論文提出者全員
	卒業論文中間発表	1 0 月下旬 (予定)	社会学主専攻の学生のみ
	卒業論文題目変更届提出	1 1 月上旬	主専攻にかかわらず変更・追加のある学生のみ
	卒業論文提出	4 月の最終の 1 週間	

【注意事項】

- ・ 提出場所は、卒業論文のみ人文社会エリア支援室学群教務担当の窓口、その他は人文社会エリア支援室のレポート提出ボックス。
- ・ 卒業論文以外の提出書類は、すべて所定の用紙を使用すること。（配布場所は人文社会エリア支援室資料配布ボックス）
- ・ 受付期間・締切時間に遅れたものは、一切受け付けないので注意すること。（止むを得ない事情がある場合には、必ず事前に連絡すること。）
- ・ ASIP等のプログラムを利用しての卒業を志望している者はクラス担任に相談すること。

注1 決定された主専攻は変更を認めないので、十分検討のうえ提出すること。

注2 法学主専攻の学生に対しては、この項目に関して別途指示を与える。

授 業 時 間

時限	授業時間
第 1 時限	8 : 4 0 ~ 9 : 5 5
第 2 時限	1 0 : 1 0 ~ 1 1 : 2 5
第 3 時限	1 2 : 1 5 ~ 1 3 : 3 0
第 4 時限	1 3 : 4 5 ~ 1 5 : 0 0
第 5 時限	1 5 : 1 5 ~ 1 6 : 3 0
第 6 時限	1 6 : 4 5 ~ 1 8 : 0 0

第2部 履修上の諸注意事項・科目番号一覧

- ・ Kdb（筑波大学 教育課程編成システム）で『開設授業科目一覧』及び各科目の『シラバス（授業概要）』を閲覧することができる。Kdbの閲覧方法は、「第3部 Kdbによる社会学類『開設科目』・シラバス』閲覧マニュアル」を参照すること。
- ・ 後日申請の科目についてはKdbに掲載できていない場合がある。掲示等に注意すること。
- ・ 非常勤講師が担当する科目のうち、Kdbに掲載しているのは一部である。掲示等に注意すること。
- ・ 他学類（専門学群）開設の共通科目のシラバスには、Kdbに掲載されていない科目もある。必要に応じて開設学類・専門学群の冊子体シラバス等を適宜参照すること。
- ・ J T P（筑波大学短期留学国際プログラム）開設科目については、必要に応じてJ T Pシラバスを参照すること。
- ・ 平成25年度の2学期制導入に伴い、社会学類を含む多くの学類・専門学群で科目番号が変更になっている。『開設授業科目一覧』や『授業概要【社会学類授業科目案内】（シラバス）』の「備考」欄などをよく見て、履修したい授業科目について履修申請する資格があるかどうかを確認すること。

平成24年度以前入学者（平成26年度以前編入学者を含む）への注意事項

- ・ **社会学類開設の授業科目を履修する場合**、『開設授業科目一覧』に掲載されている科目番号で履修申請すること。その際、各主専攻の新旧対照表に従って、社会学類入学時に配付された『履修要覧』の「履修細則」の**BB11、BB21、BB31、BB41の科目番号の科目と読み替える**。

各主専攻の科目の新旧対照表は本冊子最後の「付録：新旧対照表」を参照すること。科目番号が異なる科目でも、新旧対照表上の読み替えの対象となる科目を重複して履修した場合には、既修得済みの科目しか卒業単位として認定されないので十分な注意を払うこと。

- ・ **他学類・専門学群開設の授業科目を履修する場合**、社会学類入学時に配付された『履修要覧』の「履修細則」に定められた科目番号に則って履修すること。その際、学類・専門学群によって、平成24年度以前入学者向けと平成25年度入学者向けに科目番号を分けて異なる科目番号で開講している場合があるので、当該授業科目を開講している学類・専門学群の指定に従い、十分な注意を払って履修申請すること。

GPAの算出方法について

$$GPA = \frac{(A^+の単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1 + Dの単位数 \times 0)}{GPA対象科目の総履修登録単位数}$$

- ※対象となる科目は、卒業要件に関わる授業科目のうち、次の科目を除いたもの
- ・ 本学で修得した単位と認定された授業科目（編入学者の場合など）
 - ・ 成績が「P」または「F」で評価される授業科目
 - ・ 学類長からの要請を踏まえ学群長が指定する授業科目

履修科目の登録の上限について

学生が1年間に履修科目として登録することができる単位数は、45単位までとする（学群学則第3条参照）。ただし、

- (1) 当該年度の途中で開講が決定された科目（非常勤講師による集中授業もしくは年度途中に新たに開講が決まった科目で、開設授業科目一覧に日程の記載のないもの）については、その都度履修登録することができるものとする。
- (2) 下記①または②に該当する学生は、45単位の上限に10単位まで加え、1年間に合計55単位まで履修登録することができるものとする。

① **【平成25年度以前入学者】** 前年度修得科目数の50%以上をA以上の評価をもって修得した学生で、クラス担任の許可を得た者。

【平成26年度以降入学者】 前年度の年間GPAが2.7以上である者で、クラス担任の許可を得た者。

② クラス担任が特別な事情があると認めた者。

（特別な事情とは原則として「編入学生」、「教職免許取得」、「留学準備（留学先の大学が決定している場合に限る）」等が該当する。）

★ 45単位を超える履修申請についての許可基準

原則として①を満たす前年度の成績が優秀な学生が申請すべきものである。よって1年次の学生からの申請は基本的に認めない。

学群学生の大学院授業科目履修について

所属する学群において成績優秀と認められ、かつ、本学の大学院に進学（入学）を希望する者については、所定の手続きを経て、原則として学群・学類4年次において、大学院の授業科目を履修することができます。

なお、本制度は、学群学生への履修指導の一環として実施するものですが、大学院によっては、事情により、本制度を導入しない研究科・専攻もあります。

申請に当たっては、クラス担任等の指導の下に申請してください。

1. 申請資格

- (1) 第3年次終了時点（秋学期入学者は第3年次3月終了時点）で、学生が所属する学群・学類において成績優秀と認める者。
- (2) 本学の大学院に進学を希望する者。

2. 履修単位の取扱い

履修した単位については、本学の大学院入学後、既修得単位として認定されます。（本学の大学院に進学（入学）した場合に限って単位が授与されます。）

3. 履修に当たっての学費

本制度による大学院授業科目の履修に当たっては、別途授業料は必要ありません。ただし、授業の教材費等については、本人負担となります。

早期卒業について

筑波大学に3年以上在学した学生で、卒業要件を満たす単位を優秀な成績で修得した学生であって、かつ当該学生が希望する場合には、学類教育会議及び学群運営委員会の議を経て、学長が卒業を認定することができる（学群学則40条参照）。

★早期卒業を希望する者は、履修計画や卒業論文等について、クラス担任及び各主専攻の担当教員と十分に相談すること。

【平成25年度以前入学者】

- (1) 3年次末卒業を希望する者（秋学期入学者を除く）は、2年次までの修得単位数と3年次の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの修得科目の80%以上を「A」以上の評価をもって修得した者。
- (2) 4年次春学期末卒業を希望する者（秋学期入学者を除く）は、3年次までの修得単位数と4年次春学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの修得科目の80%以上を「A」以上の評価をもって修得した者。
- (3) 秋学期入学の学生で、4年次春学期末卒業を希望する者は、3年次までの修得単位数と4年次春学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの修得科目の80%以上を「A」以上の評価をもって修得した者。
- (4) 秋学期入学の学生で、4年次秋学期末卒業を希望する者は、3年次までの取得単位数と4年次の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの修得科目の70%以上を「A」以上の評価をもって修得した者。

【平成26年度以降入学者】

- (1) 3年次末卒業を希望する者（秋学期入学者を除く）は、2年次までの修得単位数と3年次の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ申請時までの累積GPAが3.3以上である者。
- (2) 4年次春学期末卒業を希望する者（秋学期入学者を除く）は、3年次までの修得単位数と4年次春学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積GPAが3.3以上である者。
- (3) 秋学期入学の学生で、4年次春学期末卒業を希望する者は、3年次までの修得単位数と4年次春学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積GPAが3.3以上である者。
- (4) 秋学期入学の学生で、4年次秋学期末卒業を希望する者は、3年次までの取得単位数と4年次の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積GPAが3.0以上である者。

履修の原則

- ・履修は、各自の入学時に配布された『履修要覧』に従わなければいけません。
- ・『履修要覧』に『社会・国際学群「履修細則」』およびその「別表」があります（例年、『履修要覧』の180ページあたりにあります）。「別表」には（注）もあります。履修はこれらに厳格に従わなければいけません。
- ・『履修要覧』は変更される場合があります。掲示等には十分な注意を払って下さい。

科目番号一覧

科目番号							科目番号の意味	
1	2	3	4	5	6	7	学群(一桁目)	学類(二桁目)
A	A						人文・文化学群	学群共通
	B							人文学類
	C							比較文化学類
	E							日本語・日本文化学類
B	A						社会・国際学群	学群共通
	B	1						社会学類(社会学主専攻)
	B	2						社会学類(法学主専攻)
	B	3						社会学類(政治学主専攻)
	B	4						社会学類(経済学主専攻)
	C							国際総合学類
	E							社会国際学教育プログラム
C	A						人間学群	学群共通
	B							教育学類
	C							心理学類
	E							障害科学類
E	A						生命環境学群	学群共通
	B							生物学類
	C							生物資源学類
	E							地球学類
F	A						理工学群	学群共通
	B							数学類
	C							物理学類
	E							化学類
	F							応用理工学類
	G							工学システム学類
	H							社会工学類
G	A						情報学群	学群共通
	B							情報科学類
	C							情報メディア創生学類
	E							知識情報・図書館学類
H	A						医学群	学群共通
	B							医学類
	C							看護学類
	E							医療科学類
W							体育専門学群	
Y							芸術専門学群	
8							自由科目(特設)	
9	9						博物館に関する科目	

第3部 Kdbによる社会学類『開設授業科目一覧』・『シラバス』閲覧マニュアル

Kdbとは、筑波大学教育課程編成支援システムの呼称です。筑波大学の開設授業科目を管理しています。教員がこのシステムに科目登録をすると、学生はその科目を履修することができます。学生の皆さんは、このKdbにより科目検索をして『開設授業科目一覧』や『シラバス』を参照することができます。

Kdbの使い方

まず、ウェブブラウザ*を使い、Kdbにアクセスします。

<https://kdb.tsukuba.ac.jp/>

左記URLのQRコードです。



*ブラウザはMozilla Firefox やGoogle Chrome等を使って下さい。Internet Explorerでは上手く動作しない場合があります。

Kdbのトップ画面です。

The screenshot shows the Kdb top screen with search filters for year (2015), semester, and day. Below the filters is a table with columns: 科目番号, 科目名, 授業方法, 単位, 年次, 学期, 曜時限, 教室, 担当, 備考, 科目等履修番号. At the bottom, there are buttons for '科目一覧ダウンロード', 'シラバスダウンロード', and '時間割ダウンロード'. A blue arrow points from the '年度欄' (year column) in the list to the '2015' dropdown in the search filters.

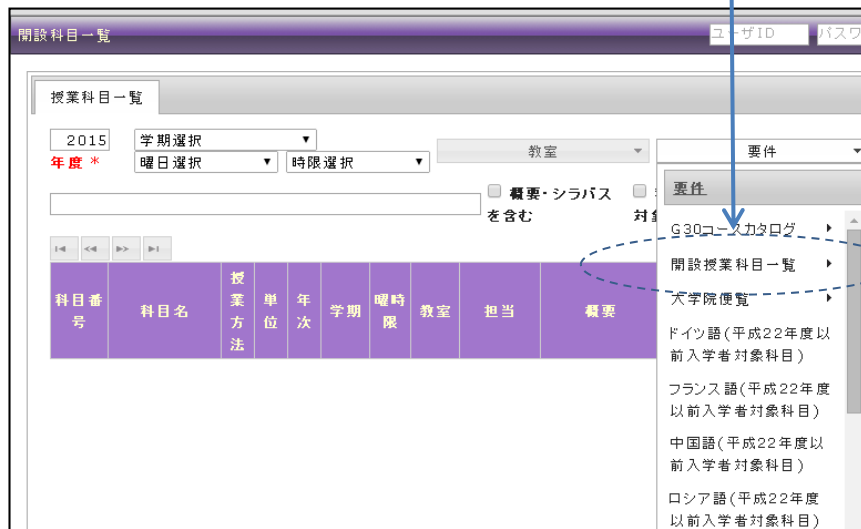
★以下の操作途中で不具合が起こったときは、この[取消]をクリックし、最初からやり直すようにして下さい。

A. 『開設科目一覧』を見る手順

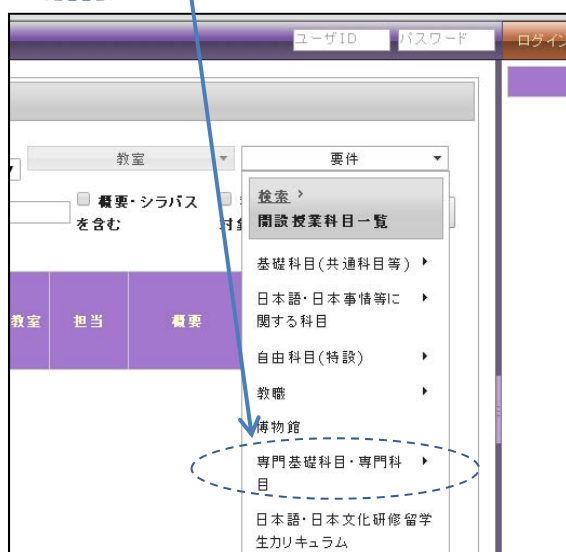
- 1) 画面左上の**年度欄**が閲覧したい年度であるか確認します。異なる年度の場合は修正（入力）して下さい。
- 2) 画面中央あたりの**[要件]**の右端の三角マーク（▶）をクリックします。

The screenshot shows the Kdb top screen with the '要件' dropdown menu open. The menu lists various options: G30コースカタログ, 開設授業科目一覧, 大学院便覧, ドイツ語(平成22年度以前入学者対象科目), フランス語(平成22年度以前入学者対象科目), 中国語(平成22年度以前入学者対象科目), ロシア語(平成22年度以前入学者対象科目). A blue arrow points from the '要件' dropdown in the search filters to the '要件' dropdown menu.

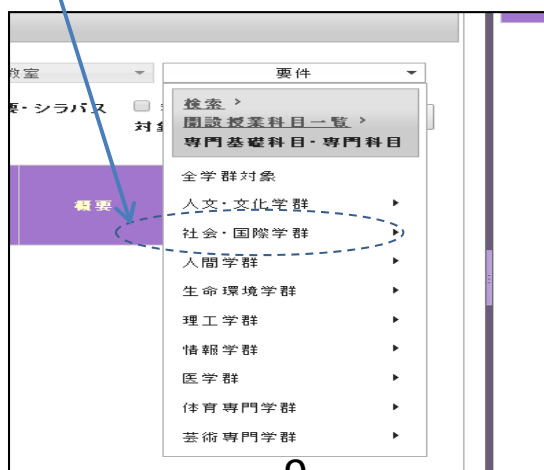
3) (G30コースカタログなど、いろいろ出てきますが) **【開設授業科目一覧】**の右端の三角マーク (▶) をクリックします。



4) (また「基礎科目(共通科目等)」などいろいろ出てきますが) **【専門基礎科目・専門科目】**の右端の三角マーク (▶) をクリックします。

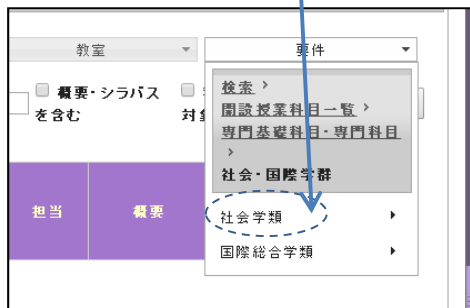


5) **【社会・国際学群】**の右端の三角マーク (▶) をクリックします。



- ここから、
- ①社会学類すべての主専攻の開設授業科目一覧を見る場合と、
 - ②主専攻ごとの開設授業科目一覧を見る場合で、操作が異なります。

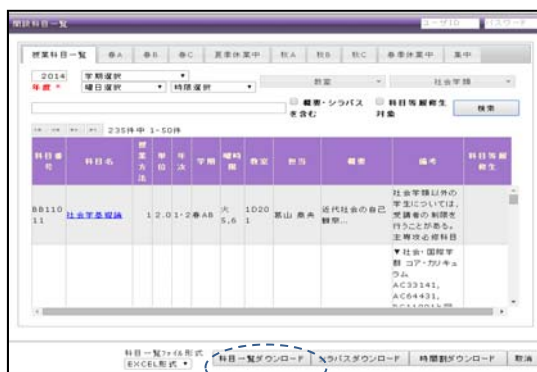
6 ①) 社会学類すべての主専攻の開設科目一覧を見たい場合：「[社会学類]」(▶)ではありません！注意して下さい)をクリックします。



7 ①) [要件]欄が、[社会学類]に変わります。そこで、「[検索]」をクリックします。



8 ①) 下のように社会学主専攻から順に、『開設科目一覧』が表示されます。

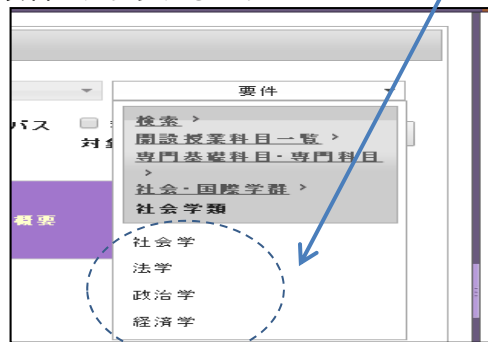


★ 画面の下にある[科目一覧ダウンロード]をクリックすると、エクセル形式で科目一覧をダウンロードできます。

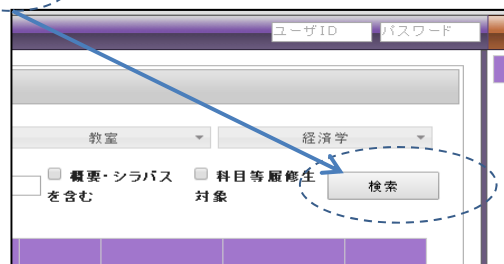
6 ②) 主専攻別の開設科目一覧を見たい場合：[社会学類]の右端の三角マーク(▶)をクリックします。



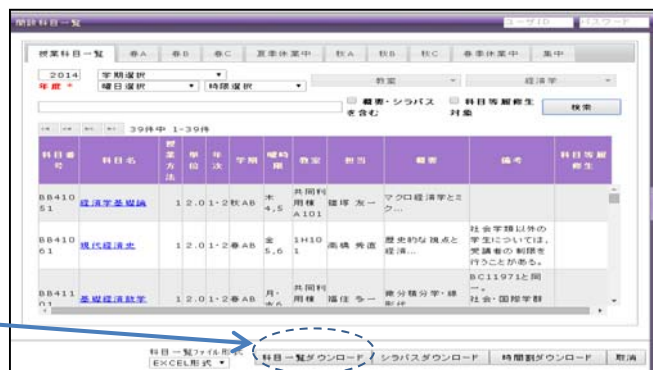
7 ②) 4つの主専攻名が表示されます。[社会学][法学][政治学][経済学]のうち、自分が見たい主専攻名をクリックします。



8 ②) 次の画面のように[要件]欄が見たい主専攻名に変わります(経済学の例)。ここで「[検索]」をクリックします。

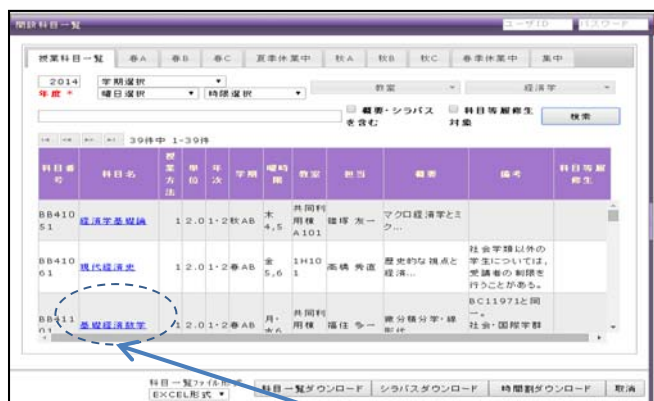


9 ②) 下の画面のように見たい主専攻の『開設科目一覧』が表示されます。

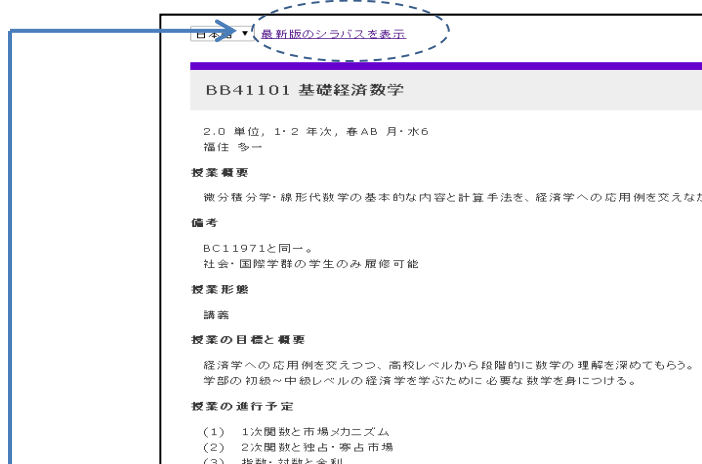


B. 各科目『シラバス』を見る手順

1) まず先の「A. 『開設科目』を見る手順」に従い、科目一覧を表示させます。



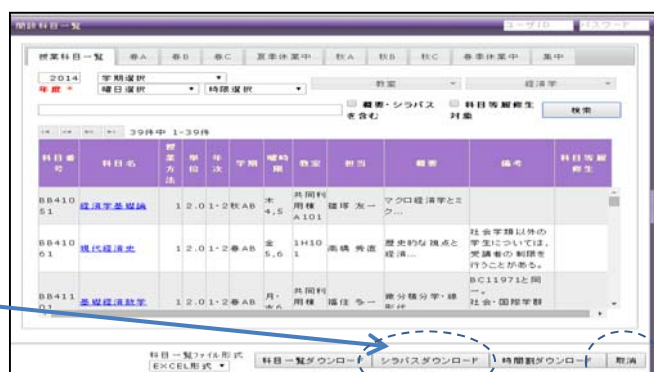
2) 下線付き青文字の科目名のシラバスを参照できます。(参照できない科目は、担当者に問い合わせる、掲示を見る、などして下さい。) 青文字の科目名をクリックすると、次のようにその科目のシラバスが表示されます。



3) 最初に表示されるシラバスは、年度開始時の「公式版」シラバスです。教員によっては、その後シラバスを更新している場合があります。更新後のシラバスを見るときは、画面左上の「最新版のシラバスを表示」をクリックして下さい。

4) シラバスをPDF形式でダウンロードすることができます。科目一覧の[シラバスダウンロード]をクリックして下さい。

ただしPDF形式でシラバスのデザインが崩れる場合もあるようです。ダウンロードしたファイルは参考程度にとどめて下さい。



Kdb操作途中で不具合が起きた場合

画面右下の[取消]をクリックし、操作を最初からやり直してください。

第4部 『社会学類の特色』 および 『専門基礎科目シラバス』

社会学類の特色

社会学類では、各分野（社会学・法学・政治学・経済学）の基礎的素養を身につけた上で、各専門分野を履修します。こうして学生諸君は、我々の社会が直面している様々な問題を発見・分析することができます。そしてこれらに対して多面的にアプローチすることによって、よりよい解決策の立案能力を獲得できるようになります。したがって、社会学類の各主専攻に進む場合、その主専攻以外の専門基礎科目も履修するようにカリキュラムは編成されています。

3年次以降、各自の好奇心にしたがって専門分野（社会学・法学・政治学・経済学）に進み知識を深めていくためにも、ここで紹介する専門基礎科目の履修は極めて重要であり、積極的な学習が望まれます。

専門基礎科目シラバス

社会学（社会学基礎論、現代社会論）・法学（法学概論、民事法概論）・
政治学（政治学・政治思想・政治外交史）・経済学（経済学基礎論・現代経済史）

これらは、社会学類ホームページからも見るすることができます。

<http://shakai.tsukuba.ac.jp/syllabus/>

左記のQRコード



社会学類ホームページのトップ画面



紫色になっているここをクリック

授業科目名	社会学基礎論		
科目番号	BB11011	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 火 5,6
担当教員	葛山 泰央		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	この授業では、社会の内部観察としての社会学的思考の成立と展開を、いくつかのテキスト(マルクス、デュルケム、ヴェーバー、ジンメルなど)に即して紹介することを目的とする。 社会学はこれまで、「近代社会の自己観察」として成立し展開してきた。それは「社会秩序とは何か」という根本問題のもとで、社会の「階層的分化」から「機能的分化」への移行に見合う、数多くの命題を打ち立ててきた。しかし社会学は現在、その方法と対象を、次第に拡散させてゆく方向にある。現代の社会学が拡散してゆく事態は、現代社会そのものが拡散してゆく事態の、一つの効果に他ならない。近代の社会学は「社会の自己観察ないしは内部観察」として繰り広げられてきたのだが、現代の社会学は「社会そのものの拡散」や「内部観察そのものの動揺」(ルーマン)に向き合わなければならないのである。 この授業では、社会学的思考の成立と展開を辿り直してゆくなかで、社会の内部観察そのものの困難や不可能性を浮かび上がらせつつ、それらの困難や不可能性が近代・現代の社会学を「解体」させたのちに、近代・現代社会を観察するためのいかなる思考が残存しているのかを、探究することにする。 前半では、「社会的事象の探究」「19 世紀と 20 世紀の社会学」「行為理論」「物象化論と存立構造論」という視点から、社会学的思考の成立と展開を主題化する。後半では、「構造主義」「知の考古学」「社会システム理論」「習俗の思考」「イメージの思考」という視点から、「来たるべき」社会学的思考の転回の可能性について考察する。		
授業の進行予定	(1) イントロダクション (2) 社会的事象の探究 (3) 19 世紀と 20 世紀の社会学 (4) 行為理論 (5) 物象化論と存立構造論 (6) 構造主義 (7) 知の考古学 (8) 社会システム理論 (9) 習俗の思考 (10) イメージの思考		
単位取得要件	毎回の出席と小課題、中間・期末レポートを踏まえた総合評価		
授業外の予習復習方法	教科書や参考文献を手掛かりにしながら、授業の内容を十分に理解できるよう努めること(授業によっては「復習小レポート」を課す場合もあるので注意すること)。		
教材等	教科書は見田宗介(著)『社会学入門』(岩波新書)ならびに佐藤俊樹(著)『社会学の方法』(ミネルヴァ書房)。参考文献は授業のなかで適宜紹介する。		
オフィスアワー	木曜 5 限		
学生への要望			

授業科目名	現代社会論		
科目番号	BB11021	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 金 5,6
担当教員	土井 隆義		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	授業の目標 現代日本の青年層において一般的に見受けられる意識や行動と、そこから派生する諸々の問題を素材として取り上げつつ、後期近代と呼ばれる現代社会の特徴について理解を深めることを目指す。 授業の概要 近年、ウォール街占拠デモに象徴される反格差運動や、ロンドンやバンクーバーで発生した暴動など、社会に対する異議申し立て活動が、先進諸国の青年層において多発している。また、頻発するテロの背景にも、社会に対する彼らの不満感があるといわれている。しかし日本では、それらに呼応した動きが散発的には見られるものの、欧米のような過激な行動には発展していない。それどころか近年の調査によれば、日本では青年層の幸福度が他の年齢層よりも相対的に高い。相対的貧困率の上昇や失業率の上昇など、青年層が置かれた社会状況はきわめて厳しく、日本だけが好転しているわけではないのに、この相違はどこから生じているのだろうか。この講義では、現代日本の青年たちに見られる社会意識の特徴という観点から、この問いに対して多角的に検討を行なう。具体的には、現代の青年層の格差観や生活満足度などの意識調査について、また犯罪問題、自殺問題などの病理現象について、それぞれをトピックとして取り上げつつ、授業を進めていく。		
授業の進行予定	(1) プロローグ~現代はどのような社会か (2) 現代日本における社会的格差の広がり (3) 現代の生活実感とはどのようなものか (4) 社会関係を巡る「脱埋め込み」の進行 (5) 「不満」から「不安」への感情シフト (6) 「かけがえのない自分」からの疎外感 (7) 伝統的な世界観や価値観に対する憧憬 (8) 偏りの文化の消失と新宿命主義の台頭 (9) 関係の分断化とリスク社会化の広がり (10) エピローグ~現代社会をどう生きるか		
単位取得要件	学期末の筆記試験（論述形式）によって評価する。		
授業外の予習復習方法	授業で紹介する参考文献に目を通すことが望ましい。		
教材等	教科書は特に指定しない。授業の中で関係する参考文献を紹介する。		
オフィスアワー	特に定めないので面会希望者は個別に連絡してください。 人文社会学系棟 A414 4078 doi.takayoshi.gb at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	授業で扱った社会学の概念を用いて自分の生活環境をどのように解釈できるかを考えてみてください。		

授業科目名	法学概論		
科目番号	BB20001	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 AB 木 4,5
担当教員	根本 信義		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	本科目は、これから法学を学ぶ学生を主たる対象として、(1) 法の意義と特徴を理解すること、(2) 法学という学問の概要、とりわけ「法解釈学」の「ものの見方・考え方」を習得すること、さらに (3) 実践的な能力としてとして、六法を引くこと、裁判所の判決を読むことが苦にならなくことを目標とする。		
授業の進行予定	以下は一応の予定であり、特に進行順序の点を中心に変更の可能性がある。 第 1 回法とは何か 1(法の規範性・法の機能) 第 2 回法とは何か 2(サッカーのルール生成過程との対比で法を考える) 第 3 回法と制度 (法律家、司法制度) 第 4 回法の解釈 (法解釈の意義と必要性、基本的な考え方と技術) 第 5 回事実認定 (事実認定の意義と必要性、基本的な考え方と技術) 第 6 回刑事事件の判決を書いてみよう 第 7 回判決文を読む (実際の判決文の読み方) 第 8 回法と近代 第 9 回法と現代 第 10 回法と正義		
単位取得要件	原則として期末試験 (筆記試験) で評価する。 但し、小テストを何回か課す予定もあり、その際は、加点要素とする。 また、出席と講義時の質問に対する回答も加点要素とする。		
授業外の予習復習方法	本科目に限っては、予習よりも復習を重視していただきたい。復習については、講義ノートや資料等を熟読し、講義で取り扱われたテーマの議論の展開を自分で追体験し、自分の言葉として説明できるようにしてほしい。		
教材等	教科書はおって指示する。なお、何らかの「六法」を準備すること (開講時に説明するので、その時点までは持参しなくともよい)。 参考文献は開講時をはじめとして随時紹介する。		
オフィスアワー	特に設けませんので、下記メールアドレス宛予約を入れた上で研究室に来てください。 人文社会学系棟 B305 nemoto.nobuyoshi.ge at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	・「民法」と呼ばれる法の分野については、「民法概論」が開講されています。法学専攻進学希望者はもちろんのこと、そうでない学生も、本科目と並行して履修することを強く希望します。 ・常に「法学ではどんな頭の使い方をするのだろうか」「法学の議論の仕方にはどんな『クセ』があるのか」というふうに、法学の「特徴」を、自分の普段のものの見方・考え方や、並行して勉強している諸学問のものの見方・考え方と比較しつつ学べると、楽しくなるかもしれません。		

授業科目名	民事法概論		
科目番号	BB20021	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 AB 水 1,2
担当教員	本澤 巳代子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	目標:市民生活に必要な民事法全般に関する基礎知識を身に付けること 概要:日常生活の中で体験する具体的事例を挙げながら、民法や消費者保護に関する法律を分かりやすく解説するとともに、商法や民事訴訟法など民事法全般についても解説する。		
授業の進行予定	教科書(後掲)の項目に従って、民事法の基本的な解説を行う。 第1回民事法と民法:公法と私法、民事法の意義と構造、民法と民法典、民法の歴史・基本原理、権利と義務、物権と債権など 第2回契約・法律行為:意思表示・契約・法律行為、公序良俗、意思表示の瑕疵(錯誤、詐欺・脅迫など)、無効と取消 第3回法律行為と代理:権利能力・意思能力・行為能力、制限能力者(未成年者、成年被後見人など)、代理制度の意義、無権代理、表見代理 第4回契約:契約の成立、契約の効果、双務契約、契約の履行(任意の履行と強制履行)、民事訴訟と強制履行、契約の不履行と損害賠償 第5回所有権:物権の種類(所有権、占有、用益物権、担保物権)、動産・不動産、所有権の取得(原始取得と取得時効、承継取得)、物権的請求権 第6回不法行為・事務管理・不当利得:不法行為の意義・機能、不法行為と保険、不法行為の要件、不法行為の種類、損害賠償、事務管理の意義、不当利得の意義 第7回債務の弁済:債務の担保(物的担保と人的担保)、債務の弁済、手形・小切手、銀行送金、クレジット・カード、プリペイド・カードなど 第8回団体:権利の主体(人と法人)、法人制度(社団法人、財団法人)、法人の活動、権利能力のない団体・財団、会社 第9回家族:夫婦関係(婚姻、婚姻届と戸籍、離婚の種類、離婚と戸籍)、親子関係(実子と養子、嫡出子と非嫡出子、人工生殖)、未成年者と父母の親権(親権の帰属・内容) 第10回扶養と相続:親族扶養の権利と義務、高齢者介護と扶養、相続の意義、相続人と相続分、遺言と遺留分 指定の試験期間の水曜1限目に期末テストを行う。		
単位取得要件	事例問題による期末テスト(全て持ち込み可)を重視する(80%)。評価に当たっては出席状況も加味する(20%)。		
授業外の予習復習方法	法学を学ぼうと思っている学生は必ず六法を購入し、授業中はもちろん、事前事後に関係条文を確認すること。なお、自分なりの講義ノートを作成することも勉強の一つなので、自分なりに工夫をして講義ノートを作成して欲しい。これらの講義ノートは、教科書等と一緒に、期末テストの際に全て持ち込みを許可するので、自分自身のためにも講義ノートをこまめに作成するようにして欲しい。		
教材等	民事法に関する入門書であれば、指定した教科書以外の本を使用しても構わない。ただし、概論と言っても学習範囲が非常に広いので、必ず事前事後に教科書等を読む必要がある。 1. 野村豊弘『民事法入門第6版』有斐閣アルマ BASIC(本体1800円)		
オフィスアワー	事前にアポイントを取ること。ただし、講義の終了時に質問時間を設けるので、できる限りその時間を活用して欲しい。 水曜日14時~18時 人社系棟 B304 motozawa.miyoko.fe at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	法学を学ぼうと思う学生は、専門科目の民法科目(総則、物権、債権、親族、相続など)および商法関係科目や民事訴訟法関係科目を学ぶための入門科目として受講し、必ず関係条文を六法で確認する習慣を身に付けて欲しい。その他の学生(他学類の学生を含む)も、学生の間はもちろん、社会人になってからも大いに役立つ一般教養として、日常生活に関わる身近な法律の知識を身に付けて欲しい。		

授業科目名	政治学		
科目番号	BB31011	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 火 2,3
担当教員	辻中 豊		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	政治学の入門的講義。政治的なものの概念、政治の分析方法などを紹介し、政治学の発展的な学習のための手掛かりを提供する。政治および政治学の全体像を把握し、政治的思考を身につけることを目指す。		
授業の進行予定	(1) 政治とは、政治学とは (2) 政治の仕組み (3) 有権者 (4) マスメディア (5) 議員と政党 (6) 官僚制 (7) 社会集団 (8) 政策過程とリーダーシップ (9) 政府体系 (10) 政治体制 (11) 政治制度 (12) 政治文化 (13) まとめ		
単位取得要件	中間試験、期末レポート、新聞切抜きの提出、出席点		
授業外の予習復習方法	テキスト、レジュメを適宜活用すること。 また、毎週、講義内容に見合った新聞記事等の切り抜きを義務付ける。		
教材等	以下のテキストに準拠して進める。参考文献は適宜紹介する。 1. 辻中豊『政治学入門』（放送大学教育振興会、2012 年） 2. 参考）伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め（第 3 版）』（有斐閣、2009 年）		
オフィスアワー	月曜・金曜各 17:00-19:00 共同研究棟 A 403 6289 yutaka-tsujinaka.fu at u.tsukuba.ac.jp http://cajs.tsukuba.ac.jp/		
学生への要望	研究ノートをつけること。詳しくは初回の講義で解説する。		

授業科目名	政治思想		
科目番号	BB31021	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 火 2,3
担当教員	近藤 康史		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	現代の政治的・社会的変容を念頭に置き、身近に起こっている政治現象などを取り上げながら、政治思想・政治理論の現代的諸論点について考え、「政治とは何か」という問題にアプローチする。またその過程で、各人が、「自由」「平等」「公共性」「民主主義」といった政治的概念について自分なりに考えると同時に、それを生かした形で現代政治に対する視角を獲得することを目標とする。		
授業の進行予定	具体的な講義内容は以下の通り。進行状況によって、若干の変更がありうる。1. 現代政治の変容:福祉国家の揺らぎ、国民国家の揺らぎ、脱伝統社会（第 1 週～第 3 週） 2. 政治思想の現代的展開:リバータリアン/コミュニタリアン、ラディカル・デモクラシー（第 4 週～第 7 週） 3. 政治的概念の変容:自由、平等、公共性、「政治的なもの」（第 8 週～第 10 週）		
単位取得要件	中間レポート（4 割）+ 学期末試験（6 割）		
授業外の予習復習方法	前回の内容を復習した上で講義に臨むことが望ましい。参考文献は講義中に提示するので、より発展的な内容について知りたい学生は活用すること。		
教材等	教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に提示する。		
オフィスアワー	基本的に火曜日だが、時間・場所については調整が必要なので、事前にメールすること。		
学生への要望			

授業科目名	政治外交史		
科目番号	BB31031	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 金 3,4
担当教員	松岡 完		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	現代の国際政治で生じているさまざまな事件の歴史的背景を知り、現代世界の序曲となった冷戦時代を中心に国際政治の歩みを把握すること。		
授業の進行予定	(1) 序論/アメリカの世紀とは (2) 第一次世界大戦/第二次世界大戦 (3) 冷戦の開始/冷戦の激化と欧州の分断 (4) 中国革命/朝鮮戦争 (5) インドシナ戦争と日本/平和共存路線の模索 (6) 西欧の防衛と統合/中東の戦火 (7) 動揺する社会主義陣営/東西対立の再燃 (8) KK 時代と多極化世界/革命とミサイル (9) ヴェトナム戦争/デタント外交 (10) 激化する地域紛争/冷戦の終焉とその後/結論		
単位取得要件	学期末試験もしくはレポート		
授業外の予習復習方法	授業と並行してテキストを読み進めること。それぞれの興味関心にもとづいて、関連する書籍(テキストに記載の参考文献など)を読み、現代国際政治の歴史について考えること。		
教材等	1. 松岡 完『20 世紀の国際政治』同文館、第三版、2003 年、3500 円。		
オフィスアワー	金曜日 11 時 30 分~12 時 3K414 matsuoka.hiroshi.fp at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	歴史は細切れで学んでも無意味。できるだけ授業全体の受講をつうじて、過去・現在・未来について考えるきっかけにして欲しい。		

授業科目名	経済学基礎論		
科目番号	BB41051	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 木 4,5
担当教員	福住 多一		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	ミクロ経済学とマクロ経済学の入門的な内容を講義します。		
授業の進行予定	この講義では最初にミクロ経済学、その後にマクロ経済学を講義します。 ミクロ経済学では、需要と供給、消費の理論、コストの概念、生産の理論、完全競争市場、市場の失敗といったトピックを講義します。 マクロ経済学では、国民所得、経済成長、失業、貨幣とインフレーション、景気変動といったトピックを講義します。 (1) 家計の行動 (2) 企業の行動 (3) 企業の行動 (4) 市場機構 (5) 市場の失敗 (6) 国民経済計算、国民所得決定の理論 (7) 消費・貯蓄・投資の理論、貨幣市場 (8) IS-LM 分析 (9) AD-AS 分析、フィリップス曲線 (10) 経済成長		
単位取得要件	試験の成績にもとづきます。		
授業外の予習復習方法	練習問題を解く努力を怠らないで下さい。		
教材等	初回に入門レベルの参考書を紹介します。 問題演習用として次のワーク・ブック (問題集) を使います。各自用意して出席して下さい。 江良亮、森脇祥太 著 (2013) 『(経済セミナー増刊) からだで覚える経済学 - Economics Workbook』 日本評論社		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	現代経済史		
科目番号	BB41061	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 金 5,6
担当教員	高橋 秀直		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	長期の経済発展過程を学ぶことにより、履修者が、物事を歴史的にみること、社会の動きを経済学的にみるができるようになることが目標です。		
授業の進行予定	講義の進行方法などの指示を伝えるので、初回には必ず参加してください。 重要なテーマは、近代経済成長と経済のグローバル化です。また、社会制度を資源配分メカニズムとみなすこと、資源配分にかかわる個人や組織の意思決定に影響する様々な要因=インセンティブについて学習します。		
単位取得要件	中間および期末テストで評価します。		
授業外の予習復習方法			
教材等	初回時に指示します。		
オフィスアワー			
学生への要望	経済学だけでなく、様々な社会科学科目を聴講することを強く勧めます。		

第5部 各主専攻別 履修ガイド 『履修細則（別表）』および『履修ガイド』

履修の原則

- ・履修は、各自の入学時に配布された『履修要覧』に従わなければいけません。
- ・『履修要覧』に「社会・国際学群『履修細則』」および、主専攻別の『別表』があります（例年、『履修細則』の180ページあたりに掲載されています）。「別表」には次ページのような（注）もあります。履修はこれらに厳格に従わなければいけません。
- ・『履修要覧』は変更される場合があります。掲示等には十分な注意を払って下さい。

履修細則の変更点

1. 平成26年度以前入学学生の履修細則を次のように変更する。

平成26年度以前の入学者が、平成27年度から開講される総合科目Ⅲを履修した場合には、2単位を上限として卒業要件の「基礎科目-共通科目-自由科目」の単位として算入することを認めます。ただし、「基礎科目-共通科目-自由科目」の合計単位数（上限）に変更はありませんので注意してください。（0～18と規程されている合計単位数が0～20にはなりません。）

2. 平成25年度以前入学学生の履修細則を次のように修正する。

基礎科目の関連科目の自由科目として「BA」を追加する。

経済学主専攻は、専門基礎科目の自由科目の「A」を「A（ただし、AAを除く）」とし、基礎科目の関連科目の自由科目として「AA」を追加する。

社会学主専攻は、「基礎科目」-「関連科目」-「自由科目」とし、その他の主専攻については「専門基礎科目」-「自由科目」とする。

平成27年度入学生用の履修細則・別表の（注）

1. 別表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「情報」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから履修する。
5. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「第1外国語」又は「第2外国語」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

第1外国語	4単位
第2外国語	4単位

6. 留学生及び外国において中等教育を受けた学生で、「第1外国語」として履修すべき単位を日本語・日本事情等に関する科目の単位数で振り替えることとされたものに係る「第1外国語」の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、4単位とする。
7. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計5単位を必修とする。
8. BEのうち別途指定する科目については、学類シラバス及び掲示で公表する。

平成23～26年度入学生用 の履修細則・別表の（注）

1. 別表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「情報」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから履修する。
5. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「第1外国語」又は「第2外国語」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

第1外国語	4単位
第2外国語	4単位

6. 留学生及び外国において中等教育を受けた学生で、「第1外国語」として履修すべき単位を日本語・日本事情等に関する科目の単位数で振り替えることとされたものに係る「第1外国語」の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、4単位とする。
7. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計6単位を必修とする。
8. BEのうち別途指定する科目については、学類シラバス及び掲示で公表する。

平成22年度以前入学生の履修細則別表の（注）については、各自で『履修要覧』を確認して下さい。

社会学主専攻について

1. 授業科目の履修は、主専攻分野の決定に必要な条件（下表）および卒業に必要な条件（入学年次別履修細則（別表））を念頭に置きながら、各自の関心にそって自主的かつ計画的に行うことが必要である。また、志望する主専攻分野が未定の学生は、将来の自分の選択肢を狭めることのないよう、各主専攻の条件を考慮しながら、独自に履修計画を立てる必要がある。
2. 主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次のとおり。

主専攻分野の決定に必要な条件
単位数の総計が30単位に達していること。 【専門科目及び専門基礎科目の12単位を含む。 ただし社会学基礎論及び現代社会論は必ず履修すること。】

3. 卒業に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次ページ以降の「入学年次別履修細則（別表）」および入学時に配布された『履修要覧』を参照すること。卒業要件は入学年次によって異なるので注意すること。
4. 同一の学期・曜日・時限に開設される科目を2科目以上履修することはできない。
5. 名称が全く同一の科目は重複して履修できない。また、旧科目名が開設授業科目一覧の備考欄で示されている科目とその旧科目とは、重複して履修できない。

※ ただし、平成24年度以前に開設された科目のうち、社会学演習・社会調査実習、および非常勤講師が担当する理論社会学・環境社会学・比較社会学・アイデンティティの社会学の重複履修を認める。

※ 現在開講されている科目が平成24年度以前のどの科目に対応するのかについては、巻頭の「新旧対照表」を参照すること。

6. 他学類・他主専攻開設の授業科目と共通する授業科目（開設授業科目一覧の備考欄に表示）は、必ず社会学類・社会学主専攻の授業科目番号（例えばBB1）のほうで履修申請を行うこと。

社会学主専攻 入学年度別 履修細則（別表）

平成27年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																																
主 専 攻 分 野	専 門 科 目						専 門 基 礎 科 目						基 礎 科 目										計			合 計						
	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	共通科目					関連科目					必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目		単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	選 択 科 目	自 由 科 目
													必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数										
社 会 学	卒業論文	6			B B 1	0～6	社会学基礎論	2	法学概論	6	法学概論	0～29	総合科目Ⅰ (リベラル・ アーツを含 む)	2			体育	0～2							教職に関する科 目	0～8	35	62	29	126		
	卒業論文演習	4	社会調査実習	0～6		現代社会論	2	民事法概論	6	民事法概論							英語上級	0～1.5						AA AE BA BE E F (FHを除 く) G H W Y S 9	0～12							
			社会学演習	6～ 12			政治学	政治学	政治学	政治学			総合科目Ⅱ *注7	5			専門英語 基礎演習	0～1														
			社会学外書講 読	1			政治思想	政治思想	政治思想	政治思想			総合科目Ⅲ	1			英語以外 の外国語	0～4.5														
			社会学研究法	2			政治外交史	政治外交史	政治外交史	政治外交史			体育	2			情報 (上級)	0～5														
			B B 1	27			経済学基礎論	経済学基礎論	経済学基礎論	経済学基礎論			第1外国語	4.5			国際	0～2														
							現代経済史	現代経済史	現代経済史	現代経済史			第2外国語	4.5			芸術	0～2														
													情報	2			総合科目 Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ (リベラ ル・アーツ を除く)	0～1														
							B B 2		B B 2																							
							B B 3		B B 3																							
						B B 4		B B 4																								
						A C 64		B C																								
								A B																								
								A C																								
								C																								
								F H																								
								B E 22																								
単位合計	10		42		0～29	4		20		0～29	21		0		0～19		0		0		0		0～12	35	62	29	126					

平成26年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
主専攻分野	専門科目					専門基礎科目					基礎科目												計		合計		
											共通科目					関連科目											
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数			
社会学	卒業論文	6	社会調査実習	0～6	B B 1	0～29	社会学基礎論	2	法学概論	6	0～29	総合科目Ⅰ (リベラル・アーツを含む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	35	62	29	126
	卒業論文演習	4		現代社会論		2	民事法概論	6	総合科目Ⅱ *注7	6		英語上級	0～1.5	AA AE BA BE E F (FHを除く) G H W Y 8 9 9	0～12												
				社会学演習		6～12	政治学	6	専門英語基礎演習	0～1																	
				社会学外書講読		1	政治思想	6	英語以外の外国語	0～4.5																	
				社会学研究法		2	政治外交史	4.5	情報(上級)	0～5																	
				B B 1		27	経済学基礎論	4.5	国際	0～2																	
					現代経済史	2	情報	0～2																			
					B B 2	14	B B 2																				
					B B 3		B B 3																				
					B B 4		B B 4																				
				A C 64		B C																					
				A B		A B																					
				A C		A C																					
				C		C																					
				F H		F H																					
				B E 22		B E 22																					
単位合計	10		42		0～29	4		20		0～29	21		0		0～18		0		0		0～12	35	62	29	126		

平成25年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																															
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計							
											共 通 科 目					関 連 科 目															
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目		単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数
社会学	卒業論文	6	社会調査実習 社会学演習	12	B B 1	0～29	社会学基礎論	2	法学概論	6	法学概論	0～29	総合科目Ⅰ (リサーチ・ セミナーを含む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	35	62	29	126			
	卒業論文演習	4	社会学外書講義	1～2	—	—	現代社会学	2	民法法概論	—	民法法概論	—	—	—	—	—	英語上級	0～1.5	—	—	—	—	AA AE BE E F (FHを除く) G H W Y 8 9 9	0～12	—	—	—	—	—		
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	政治学	—	政治学	—	—	—	—	—	専門英語基礎演習	0～1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	政治思想	—	政治思想	—	—	—	—	—	英語以外の外国語	0～4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	政治外交史	—	政治外交史	—	—	—	—	—	情報	0～5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	経済学基礎論	—	経済学基礎論	—	—	—	—	—	第1外国語	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	現代経済史	—	現代経済史	—	—	—	—	—	第2外国語	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	情報	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	社会学研究法	2～3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
単位合計	10	—	42	0～29	—	4	—	20	0～29	—	21	—	0	—	0～18	—	0	—	0	—	0～12	35	62	29	126						

平成23・24年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																															
	専門科目					専門基礎科目					基礎科目														計			合 計				
											共通科目							関連科目							単位 数	必修 科目	選択 科目	自由 科目	計			
	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数	必修 科目	単位 数								
社会学	卒業論文	6	社会調査実習	12	B B 11	社会学基礎論	2	法学概論	6	法学概論	0～29	総合科目Ⅰ (リサーチ・ セミナーを含 む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科 目	0～8	35	62	29	126					
	卒業論文演習	4	社会学実習	—	—	現代社会学	2	民法概論	—	民法概論	—	—	—	—	—	英語上級	0～1.5	—	—	—	—	AA AE BE E F (FHを除 く) G H W Y 8 9 9	0～12	—	—	—	—	—				
	—	—	社会学外書講 読	1～ 2	—	—	政治学	政治学	政治学	—	—	—	—	—	—	専門英語 基礎演習	0～1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—	政治思想	政治思想	政治思想	—	—	総合科目Ⅱ *注7	6	—	—	英語以外 の外国語	0～4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	政治外交史	政治外交史	政治外交史	—	—	—	—	—	—	情報	0～5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	経済学基礎論	経済学基礎論	経済学基礎論	—	—	—	—	—	—	第1外国語	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	現代経済史	現代経済史	現代経済史	—	—	—	—	—	—	第2外国語	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	情報	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位合計	10	—	42	0～29	—	4	—	20	0～29	—	21	—	0	—	0～18	—	0	—	0	—	0～12	35	62	29	126						

平成22年度入学者

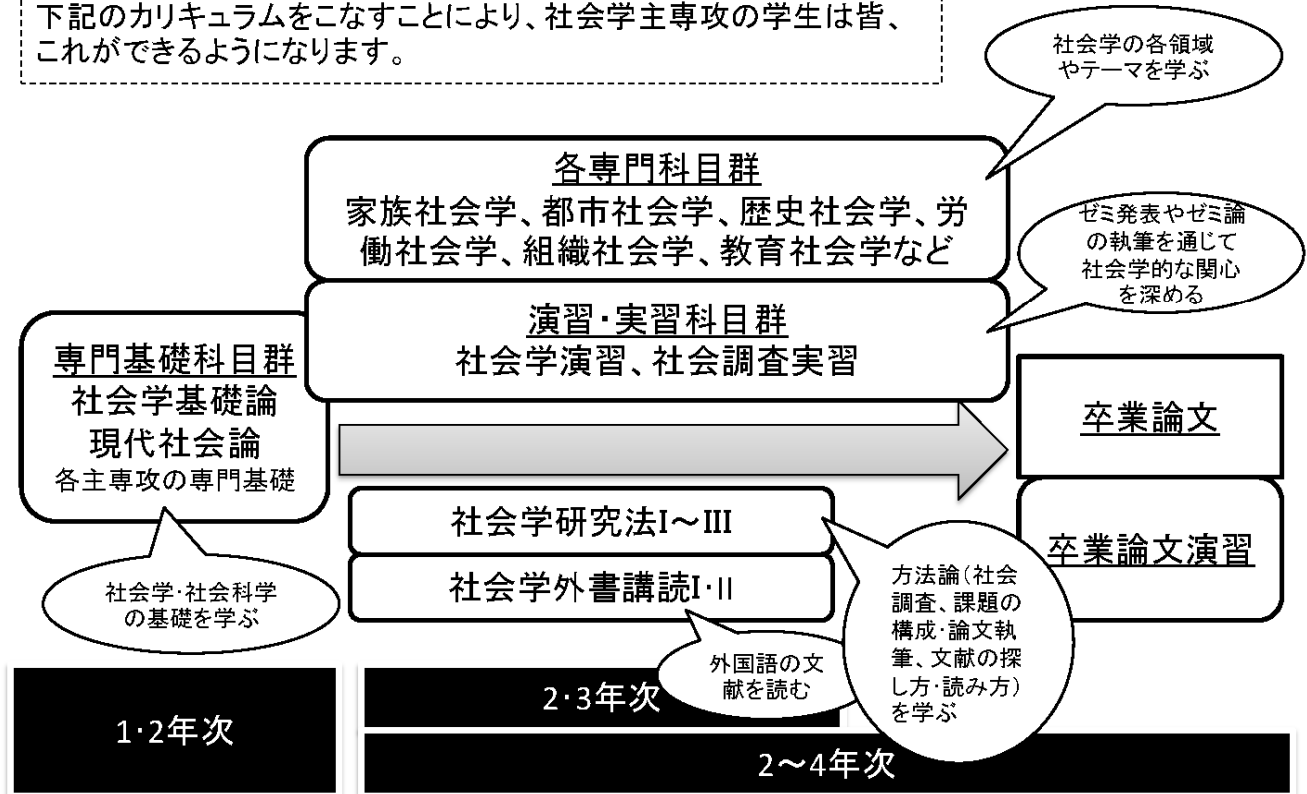
主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計		
													共通科目						関連科目											
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目		単位数	自由科目
社会学	卒業論文	6	社会調査実習	12	B B 11	0～30	社会学基礎論	2	法学概論 民事法概論	6	法学概論 民法概論	0～30	総合科目A	6	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	33	63	30	126			
	卒業論文演習	4	社会学演習			30	現代社会論	2	政治学 政治思想 政治外交史 経済学基礎論 現代経済史	2	政治学 政治思想 政治外交史 経済学基礎論 現代経済史		総合科目B	1		英語上級	0～1.5													
			B B 11			30							体育	2			英語以外の外国語	0～4.5			A A A E E F F (F Hを除く) G H W Y 8 9 9	0～12								
									B B 21 B B 31 B B 41 A C 33	14	B B 21 B B 31 B B 41 B C A B A C C F H						情報処理(上級)	0～5												
													第1外国語	4.5				英語以外の外国語	0～4.5											
												第2外国語	4.5																	
												情報処理	2																	
	単位合計	10		42		0～30	4		20		0～30	20		0		0		0		0		0～12	34	62	30	126				

平成21年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																										
	専門科目					専門基礎科目					基礎科目										計			合計			
											共通科目					関連科目											
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目		単位数		
社会学	卒業論文	6	社会調査実習 社会学演習	9	B B 11	0～30	社会学基礎論	2	B B 21 B B 31 B B 41 B C A B A C C F H	20	0～30	総合科目A	6	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目 A A A E E F (F Hを除く) G H W Y 8 9 9	0～8		33	63	30
	卒業論文演習	3										総合科目B	1	英語上級	0～1.5	英語以外の外国語	0～4.5	情報処理(上級)	0～5	国語	0～2		芸術	0～2	0～12		
	B B 11	34	体育	2	第1外国語	4.5	第2外国語	4.5	情報処理	2																	
単位合計	9		43		0～30		4		20		0～30		20		0		0～17		0	0		0～12	33	63	30	126	

社会学主専攻の科目体系

最低4万字以上「卒業論文」の執筆は大変だと思いかもしませんが、下記のカリキュラムをこなすことにより、社会学主専攻の学生は皆、これができるようになります。



- 社会学主専攻の教育目標は、【卒業論文の完成】にある。上図の通り、本主専攻の科目の多くは、それに向けて配置されている。
- 卒業論文とは、自分で問題をたて、先行研究を検討し、分析視角・分析手法を決めて、調査・データ収集を行い、分析・考察を経て、自ら一定の答えを用意することである。
- 卒論では、高校までの授業のように「問題は先生が作り、それを学生が解答する」のではなく、「問い」も自らたてる必要がある。各自の自主性を重んじるという点から、テーマの選択は、学生の自主性に任せている。仮題目届の提出時までにテーマ選択や執筆プランをよく考え、指導を希望する教員とよく相談すること。
(仮題目届提出の一ヶ月前くらいから連絡し始めることが望ましい)
- また、卒業論文演習の履修において求められることとして、秋に行われる「卒業論文中間報告会」での発表がある。社会学主専攻への進学を考えている1・2年次学生、仮題目届提出を控えた3年次学生は、中間報告会に参加し、参考にするとい。

(日程や場所については別途掲示する)

法学主専攻について

1. 法律の科目を学ぶ場合には、時間割の空いている時間を埋めることのみを優先せず、「入学年度別履修細則」の次にある「法学主専攻履修ガイド」を参考に、授業担当の先生に相談する等して、充実した、内容のある効率的な履修計画を心がけて下さい。
2. 履修計画を立てる際には、主専攻分野決定および卒業に必要な履修科目と単位数を考えて行なって下さい。
3. 主専攻分野の決定に必要な条件(履修科目および単位数)は、次の通りです。

法学主専攻分野の決定に必要な条件
《平成21年度入学者》 単位数の総計が30単位に達していること。 【専門科目の6単位〔憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法概論、民法総則、刑法Ⅰの中から選択〕及び専門基礎科目(法学概論を含む。)]の6単位を含む。】
《平成22年度以降入学者》 単位数の総計が30単位に達していること。 【専門科目の4単位〔憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法総則、刑法Ⅰの中から選択〕及び専門基礎科目(法学概論、民事法概論を含む。)]の8単位を含む。】

4. 卒業に必要な履修科目および単位数等の条件は、入学時に配布された「履修要覧」に記載されていますので参照して下さい。合計の単位数だけでなく、専門科目・専門基礎科目・基礎科目等の区分ごとに必要な単位数を満たす必要があること、卒業に必要な単位としてカウントされる単位数の上限が区分ごとに決まっていることに十分注意を払って下さい。また、3学期制から2学期制への移行に伴い、同一内容の授業でも科目番号が変わっていますので、平成24年度以前の入学者は、【第2部 履修上の諸注意事項・科目番号一覧】および【付録新旧対照表】にある注意書きを参考にしてください。
5. 演習(ゼミナール)履修上の注意
 - (1) 同時に複数の演習を履修する場合は、各担当教員の許可を得て下さい。
 - (2) **【演習単位数変更に伴う経過措置】**
平成24年度以前の入学者は、卒業に必要な演習3単位の科目として、3単位以外の演習科目を割り当てる場合には、2単位演習科目を2科目または4単位演習科目を1科目を充てることとし、その場合、3単位を超える1単位を分割して専門科目-選択科目のBB2科目(平成24年度以前の履修要覧ではBB21科目)に組み入れることができます。
 - (3) 卒業に必要な演習単位数(平成25年度以降入学者は4単位)を超えて取得した演習科目単位については、専門科目のBB2科目(平成24年度以前の履修要覧ではBB21科目)の単位として扱われます。ただし、1つの科目の単位数を分割して、専門科目-選択科目と専門科目-自由科目に振り分けることはできません。
6. ***BE科目履修上の注意**
以下のBE科目は専門基礎科目に含まれません。
開設科目一覧で一般学生の受講が不可となっている科目
BE21 313 日本の伝統文化Ⅰ、BE21 131 Introduction to Programming、
BE21 041 Academic WritingⅠ、BE21 051 Academic WritingⅡ、
BE21 061 Academic WritingⅢ
7. その他
※社会学類開設の授業科目のなかで、他の学類開設の授業科目と共通の授業科目となることが開設授業科目一覧の備考欄に示されている科目は、必ず社会学類の科目番号(例えばBB2)で履修申請を行って下さい。
※履修申請にあたっては、申請漏れや変更がないように十分留意し、所定の期間内に手続きをしましょう。

法学主専攻 入学年度別 履修細則（別表）

平成27年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																														
	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目										基 礎 科 目												計			合 計
																共 通 科 目						関 連 科 目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	
法 学	一	—	憲法Ⅰ	4	B B 2	0～19	法学概論	2	社会学基礎論	6	総合科目Ⅰ (フレッシュ・セクターを含む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126					
	—	—	憲法Ⅱ	—	—	—	民事法概論	2	現代社会学	—	総合科目Ⅱ *注7	3	—	—	英語上級	0～1.5	—	—	—	—	A B C E F G H W Y S 9 9	0～19	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	民法総則	—	—	—	政治学	—	政治学	—	—	—	—	—	専門英語基礎演習	0～1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	刑法Ⅰ	—	—	—	政治思想	—	政治思想	—	—	—	—	—	英語以外の外国語	0～4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	B B 2の演習の授業科目	4	—	—	政治外交史	—	政治外交史	—	総合科目Ⅲ	1	—	—	情報(上級)	0～5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	法律外書講義(英語)	1	—	—	経済学基礎論	—	経済学基礎論	—	体育	2	—	—	第1外国語	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	B B 2	45	—	—	現代経済史	—	現代経済史	—	第2外国語	4.5	—	—	芸術	0～2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 1	22	B A	—	情報	2	—	—	総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (フレッシュ・セクターを除く)	0～2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 3	—	B B 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 4	—	B B 3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
単位合計		0	54	0～19	4	20	0～19	21	0	0～19	21	0	0～19	0	0	0	0	0	0	0～19	25	82	19	126							

平成26年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																												
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目															計		合 計
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	共通科目					関連科目					必修科目	選択科目	自由科目				
												必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数				自由科目	単位数		
法 学	—	—	憲法Ⅰ	4	B B 2	0～19	法学概論	2	社会学基礎論	6	0～19	総合科目Ⅰ (フレッシュ・セクターを含む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126	
	—	—	憲法Ⅱ	—	—		現代社会学	—	総合科目Ⅱ *注7	6		—	—	英語上級	0～1.5	—	—	専門英語基礎演習	0～1	—		—	A B C E F G H W Y S 9 9					0～19
	—	—	民法総則	—	—		政治学	—	—	—		—	—	—	—	—	英語以外の外国語	0～4.5	—	—		—	—					
	—	—	刑法Ⅰ	—	—		政治思想	—	—	—		—	—	—	—	—	情報(上級)	0～5	—	—		—	—					
	—	—	B B 2の演習の授業科目	4	—		政治外交史	—	—	—		—	—	—	—	—	第1外国語	4.5	—	—		—	—					
	—	—	法律外書講義(英語)	1	—		経済学基礎論	—	—	—		—	—	—	—	—	第2外国語	4.5	—	—		—	—					
	—	—	B B 2	45	—		現代経済史	—	—	—		—	—	—	—	—	情報	2	—	—		—	—					
	—	—	—	—	—		B B 1	22	B A	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—					
	—	—	—	—	—		B B 3	—	B B 1	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—					
	—	—	—	—	—		B B 4	—	B B 3	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—					
単位合計					0	54	0～19	4	28	0～19	21	0	0～18	0	0	0	0～19	25	82	19	126							

平成25年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																															
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計							
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	共 通 科 目					関 連 科 目					必修科目	選択科目		自由科目						
												必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数					自由科目	単位数				
法 学	—	—	憲法Ⅰ	4	B B 2	法学概論	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・ セミナーを含む)	0～19	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126					
	—	—	憲法Ⅱ	—	—	民事法概論	2	現代社会論	—	現代社会論	総合科目Ⅱ *注7	6	—	—	英語上級	0～1.5	—	—	—	—	A B C E F G H W Y 8 9 9	0～19	—	—	—						
	—	—	民法総則	—	—	政治学	—	政治学	—	政治学		—	—	専門英語 基礎演習	0～1	—	—	—	—												
	—	—	刑法Ⅰ	—	—	政治思想	—	政治思想	—	政治外交史	—	政治外交史	—	—	英語以外の 外国語	0～4.5	—	—	—	—						—	—	—	—	—	
	—	—	B B 2の演習の 授業科目	4	—	経済学基礎論	—	経済学基礎論	—	現代経済史	—	現代経済史	—	—	体育	2	—	—	—	—						—	—	—	—	—	
	—	—	法律外書講読 (英語)	1	—	B B 1	22	B B 1	—	B B 1	—	B B 1	—	第1外国語	4.5	—	—	—	—	情報						0～5	—	—	—	—	—
	—	—	B B 2	45	—	B B 3	—	B B 3	—	B B 3	—	B B 3	—	第2外国語	4.5	—	—	—	—	情報 (上級)						—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	B B 4	—	B B 4	—	B B 4	—	B B 4	—	情報	2	—	—	—	—	国際						0～2	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	A B 00	—	A B 00	—	A B 00	—	A B 00	—	芸術	0～2	—	—	—	—	芸術						0～2	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	A B 60	—	A B 60	—	A B 60	—	A B 60	—	—	—	—	—	—	—	—						—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	A B 70	—	A B 70	—	A B 70	—	A B 70	—	—	—	—	—	—	—	—	—						—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	A B 74	—	A B 74	—	A B 74	—	A B 74	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
—	—	—	—	—	B C	—	B C	—	B C	—	B C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
—	—	—	—	—	会計学概論	—	会計学概論	—	会計学概論	—	会計学概論	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
—	—	—	—	—	数理解析	—	数理解析	—	数理解析	—	数理解析	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
—	—	—	—	—	経営工学概論	—	経営工学概論	—	経営工学概論	—	経営工学概論	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
—	—	—	—	—	B E (別途指定する 科目を除く)	—	B E (別途指定する 科目を除く)	—	B E (別途指定する 科目を除く)	—	B E (別途指定する 科目を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
単位合計		0	54	0～19	4	28	0～19	21	0	0～18	0	0	0	0	0～19	25	82	19	126												

平成23・24年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																														
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計						
											共 通 科 目					関 連 科 目														
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目		単位数					
法 学	一	一	憲法Ⅰ	4	B B 21	0～19	法学概論	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～19	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セミナーを含む)	2	一	一	体育	0～2	一	一	一	一	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126		
			憲法Ⅱ				民事法概論	2	現代社会論		現代社会論						英語上級	0～1.5					A B E C E F G H W Y 8 9 9	0～19						
			民法総則				政治学		政治学		政治学						専門英語基礎演習	0～1												
			刑法Ⅰ				政治思想		政治思想		政治外交史						英語以外の外国語	0～4.5												
			B B 21の演習の授業科目	3			政治外交史		政治外交史		経済学基礎論		経済学基礎論				情報処理(上級)	0～5												
			法律外書講読(英語)	1			現代経済史		現代経済史		B B 11	22	B B 11	4.5			第1外国語													
			B B 21	46			B B 31		B B 31		B B 31		B B 31	4.5			第2外国語													
							B B 41		B B 41		B B 41		B B 41	2			情報処理													
							A B 00		A B 00		A B 00		A B 00				芸術	0～2												
							A B 10		A B 10		A B 10		A B 10																	
						A B 20		A B 20		A B 20		A B 20																		
						A B 23		A B 23		A B 23		A B 23																		
						B C		B C		B C		B C																		
						会計学概論		会計学概論		会計学概論		会計学概論																		
						数理解析		数理解析		数理解析		数理解析																		
						経営工学概論		経営工学概論		経営工学概論		経営工学概論																		
						B E (別途指定する科目を除く)		B E (別途指定する科目を除く)		B E (別途指定する科目を除く)		B E (別途指定する科目を除く)																		
	単位合計	0		54		0～19		4		28		0～19		21		0		0～18		0		0		0～19	25	82	19	126		

平成22年度入学者

主専攻分野		卒業に必要な履修科目及び修得単位数																										合計
		専門科目					専門基礎科目					基礎科目										計						
												共通科目					関連科目											
必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	単位数	
法学	—	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 民法Ⅰ	4	B B21	0~20	法学概論 民事法概論	2	社会学基礎論 現代社会学 政治学 政治思想 政治外交史 経済学基礎論 現代経済史	6	社会学基礎論 現代社会学 政治学 政治思想 政治外交史 経済学基礎論 現代経済史	0~20	総合科目A 総合科目B 体育 第1外国語 第2外国語 情報処理	6 1 2 4.5 4.5 2	—	体育 英語上級 英語以外の外国語 情報処理(上級) 国語 芸術	0~2 0~ 1.5 0~ 4.5 0~5 0~2 0~2	—	—	—	—	教職に関する科目 A C E F G H W Y 8 9 9	0~8 0~20	22	84	20	126		
	—	B B21の演習の授業科目 B B21	3 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
単位合計		0	54	0~20	4	28	0~20	20	0	0~17	0	0	0~20	24	82	20	126											

平成21年度入学者

[illegible]

法学主専攻 履修ガイド

法学主専攻に関するカリキュラムは、法学の学修成果を身に付けるため、この図のような年次での履修を念頭に配置されています。

育成する能力とカリキュラムの構造

	1年	2年	3年	4年（*）
専門科目		演習		
		ジェンダーと刑法、有価証券基礎、電子記録債権法（電子手形）、裁判実務Ⅰ・Ⅱ、民事判例研究Ⅰ・Ⅱ、学校トラブルと法、国際労働法		
			社会保障法、信託法、刑事政策、金融商品取引法Ⅰ・Ⅱ、国際民事訴訟法、民事執行法、倒産処理法、国際組織法、西洋法制史	
		行政法、国際法Ⅰ、国際組織法、労働法、法社会学Ⅰ・Ⅱ		
			刑事訴訟法、会社法Ⅰ・Ⅱ、民事訴訟法Ⅱ、法制史	
		憲法Ⅲ、刑法Ⅱ・Ⅲ、商法Ⅰ、民事訴訟法Ⅰ		
		物権、債権総論、事務管理・不当利得・不法行為、親族、相続	担保物権	(*) 卒業論文
	国際法概論			
	契約			
	憲法Ⅰ・Ⅱ			
基礎科目	刑法Ⅰ	民法総則		
	法学概論、民事法概論			
基礎科目	共通科目			
		関連科目		

(この図に掲載された科目とその年度に開講される科目が一致しない場合もあります。開設授業科目一覧、専門科目シラバス、掲示、TWINS等の情報に注意するようにして下さい。)

法学主専攻の専門科目には、履修に関して、基礎となる科目を理解した上での積み重ねが大事な科目があります。また、内容的に見ると、基本的な理論を扱う授業、社会に出て役立つ実践的な内容を取り上げる授業、法的視点からのコミュニケーション力を高める授業等があります。

これらを総合的に考慮し、1年次から4年次に至るまで、法的な知識・理解度・意識・関心の高まりに合せて、効率的かつ必要な履修ができるよう工夫された配置になっています。中には隔年開講や集中講義等の科目もありますので、単年度では履修できない場合、2年間の間にうまくやりくりする等の工夫をして下さい。

平成27年度からの新設科目である「卒業論文」は卒業のための必修科目ではありません。あるテーマについてより深く学びたい、法学主専攻における自らの修学の集大成を形にしたいといった学生に対して開かれた科目です。履修のための条件、履修申請の仕方等、他の科目と異なる点がありますので、掲示に注意して下さい。

政治学主専攻について

1. 授業科目の履修は、主専攻分野の決定に必要な条件および卒業に必要な条件を念頭に置きながら、各自の関心に沿って自主的かつ計画的に行うことが必要である。特に、1・2年次において志望する主専攻分野を内定していない学生は、各主専攻の条件を考慮して、独自に履修計画を立てなければならない。
2. 主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次のとおり。

主専攻分野の決定に必要な条件
単位数の総計が30単位に達していること。 【専門科目及び専門基礎科目（政治学、政治思想及び政治外交史を含む。）の12単位を含む。】

3. 卒業に必要な条件（履修科目及び単位数）はこの冊子に掲載されている「履修細則（別表）」および入学時に配布された「履修要覧」を参照すること。なお、卒業に必要な条件は入学年度によって異なるので注意すること。
4. 同一の学期・曜日・時限に開設される科目を2科目以上履修することはできないので、履修申請の際には留意すること。
5. 名称が全く同一の科目は、重複して履修できない。平成25年度以降に開設される「政治学特講」も、ローマ数字が同じものは、担当教員が異なっても重複して履修できない。

※履修申請の際には、申請漏れや変更がないように十分留意し、所定の期間内に手続をすること。

※社会学類開設の授業科目のなかで、他学類開設の授業科目と共通の授業科目（開設授業科目一覧の備考欄に表示）は、必ず、社会学類の授業科目番号（例えばBB3）で履修申請を行うこと。

*平成24年度以前入学者に対する履修上の注意

① 演習科目の科目番号の取扱いについて

平成25年度以降、政治学入門演習と各種の専門演習（政治学演習、比較政治学演習、国際政治学演習など）はBB31ではなくBB32で始まる科目番号で開設されるようになった。平成24年度以前入学者が修得したこれらの科目の単位は、科目番号BB31の単位とみなして卒業単位に算入する。

② 社会学類の他主専攻開設科目について

科目番号がBB1、BB2、BB4、で始まる他主専攻開設科目の単位を修得した場合、科目番号BB11、BB21、BB41、の単位とみなして卒業単位に算入する。

*** BE科目履修上の注意**

① BE科目のうち専門科目の選択・自由科目として履修できる科目
該当する科目なし。

② BE科目のうち専門基礎科目の選択・自由科目として履修できる科目
BE11，BE21，BE22から始まる科目。

※変更がある場合には掲示するので、掲示板に注意すること。

政治学主専攻 入学年度別 履修細則（別表）

平成27年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目					専門基礎科目					基礎科目										関連科目					計		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数
	単位合計	0	48	0～19	6	32	0～19	21	0	0～19	0	0	0～19	0	0	0	0～12	27	80	19	126							
政治学	—	—	B B 3の演習の授業科目（政治学入門演習を除く。）	6	B B 3 B Eのうち別途指定する科目	0～19	政治学	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～19	総合科目Ⅰ（フレッシャーズ・向けを含む）	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	27	80	19	
	—	—	政治学外書講読（英語）	1～2	—	—	政治思想	2	現代社会論	2	現代社会論	—	総合科目Ⅱ*注7	5	—	—	英語上級	0～1.5	—	—	—	—	A B E C E F G H W Y 8 9 9	0～12	—	—	—	
	—	—	B B 3 B Eのうち別途指定する科目	40～41	—	—	政治外交史	2	法学概論	2	法学概論	—	総合科目Ⅲ	1	—	—	専門英語基礎演習	0～1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	民事法概論	2	民事法概論	2	民事法概論	—	総合科目Ⅳ	2	—	—	英語以外の外国語	0～4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	経済学基礎論	2	経済学基礎論	2	経済学基礎論	—	体育	2	—	—	情報（上級）	0～5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	現代経済史	2	現代経済史	2	現代経済史	—	第1外国語	4.5	—	—	国語	0～2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第2外国語	4.5	—	—	芸術	0～2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	情報	2	—	—	総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（フレッシャーズ・向けを除く）	0～1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 1	26	B A	26	B A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 2	26	B B 1	26	B B 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 4	26	B B 2	26	B B 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

平成26年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目					専門基礎科目					基礎科目										関連科目					計		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数
	単位合計	0	48	0～19	6	32	0～19	21	0	0～18	0	0	0～18	0	0	0	0～12	27	80	19	126							
政治学	—	—	B B 3の演習の授業科目（政治学入門演習を除く。）	6	B B 3 B Eのうち別途指定する科目	0～19	政治学	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～19	総合科目Ⅰ（フレッシャーズ・向けを含む）	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	27	80	19	
	—	—	政治学外書講読（英語）	1～2	—	—	政治思想	2	現代社会論	2	現代社会論	—	総合科目Ⅱ*注7	6	—	—	英語上級	0～1.5	—	—	—	—	A B E C E F G H W Y 8 9 9	0～12	—	—	—	
	—	—	B B 3 B Eのうち別途指定する科目	40～41	—	—	政治外交史	2	法学概論	2	法学概論	—	総合科目Ⅲ	2	—	—	専門英語基礎演習	0～1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	民事法概論	2	民事法概論	2	民事法概論	—	第1外国語	4.5	—	—	英語以外の外国語	0～4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	経済学基礎論	2	経済学基礎論	2	経済学基礎論	—	体育	2	—	—	情報（上級）	0～5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	現代経済史	2	現代経済史	2	現代経済史	—	第2外国語	4.5	—	—	国語	0～2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	情報	2	—	—	芸術	0～2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 1	26	B A	26	B A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 2	26	B B 1	26	B B 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	B B 4	26	B B 2	26	B B 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

平成25年度入学者

主専攻分野		卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
		専門科目					専門基礎科目					基礎科目										計			合計						
												共通科目					関連科目														
必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目		単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	
政治学	—	—	B B 3の演習の授業科目（政治学入門演習を除く。）	6	B B 3	0～19	政治学	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～19	総合科目Ⅰ（フレッショアップを含む）	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	27	80	19	126			
							政治思想	2	現代社会論	2	現代社会論						英語上級	0～1.5					A B C E F G H W Y 8 9 9	0～12							
			政治学外書講読（英語）	1～2			政治外交史	2	法学概論	2	法学概論		総合科目Ⅱ*注7	6			専門英語基礎演習	0～1													
									民事法概論	2	民事法概論		体育	2			英語以外の外国語	0～4.5													
			B B 3	40～41					経済学基礎論	2	経済学基礎論		第1外国語	4.5			情報（上級）	0～5													
単位合計		0		48		0～19		6		32		0～19		21		0		0～18		0		0		0～12	27	80	19	126			

平成23・24年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																												
主 専 攻 分 野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目						基 礎 科 目										計			合 計			
												共 通 科 目					関 連 科 目											
	必修 科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必修 科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必修 科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必修 科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数		必修 科目	選 択 科 目	自 由 科 目
政 治 学	—	—	B B 31の演習 の授業科目 (政治学入門 演習を除く。)	6	B B 31 B Eのうち 別途指定す る科目	0～ 19	政治学	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～19	総合科目Ⅰ (フレッシュ・ セクターを含 む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科 目	0～8	27	80	19	126
							政治思想	2	現代社会論		現代社会論						英語上級	0～1.5				A B E C E F G H W Y 8 9 9	0～12					
			政治学外書講 読(英語)	1～ 2			政治外交史	2	法学概論		民法概論		総合科目Ⅱ *注7	6			専門英語 基礎演習	0～1										
			B B 31 B Eのうち別 途指定する科 目	40～ 41					民事法概論	26	民事法概論		体育	2			英語以外 の外国語	0～4.5				情報処理 (上級)	0～5					
単位合計		0		48		0～19		6		32		0～19		21		0		0～18		0		0		0～12	27	80	19	126

平成22年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目					専門基礎科目						基礎科目												計			合計	
												共通科目						関連科目										
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目							
政治学	—	—	B B 31の演習の授業科目（政治学入門演習を除く。）	6	B B 31	0～20	政治学	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～20	総合科目A	6	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目 A C E F G H W Y 8 9 9	0～8	26	80		20
						政治思想	2	現代社会論		現代社会論		総合科目B	1			英語上級	0～1.5					0～12						
						政治外交史	2	法学概論		法学概論		体育	2			英語以外の外国語	0～4.5											
								経済学基礎論		経済学基礎論		第1外国語	4.5			情報処理（上級）	0～5											
								現代経済史		現代経済史		第2外国語	4.5			国語	0～2											
												情報処理	2			芸術	0～2											
単位合計	0			48		0～20	6			32		0～20	20		0		0～17		0		0		0～12	26	80	20	126	

平成21年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																												
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計				
	必修科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必修科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	共 通 科 目					関 連 科 目					必修科目		選 択 科 目	自 由 科 目		
													必修科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必修科目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数					自 由 科 目	単 位 数
政 治 学	—	—	B B 31の演習の授業科目 (政治学入門演習を除く。)	6	B B 31	0～20	政治学	2	法学概論	6	政治学	0～20	総合科目A	6	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	26	80	20	126
							政治思想	2	経済原論入門		経済原論入門		総合科目B	1			英語上級	0～1.5										
							政治外交史	2	世界経済史入門		世界経済史入門		体育	2														
									初級ミクロ経済学		初級ミクロ経済学		第1外国語	4.5			英語以外の外国語	0～4.5										
									初級マクロ経済学		初級マクロ経済学		第2外国語	4.5														
									社会学基礎論		社会学基礎論		情報処理	2			情報処理(上級)	0～5										
									現代社会論		現代社会論						国語	0～2										
																	芸術	0～2										
単位合計		0		48		0～20		6		32		0～20		20		0		0～17		0		0		0～12	26	80	20	126

政治学主専攻 履修ガイド

政治学主専攻の専門基礎科目・専門科目の体系を以下に図で示す。講義科目を履修する順序は標準的なイメージであり拘束的なものではないが、科目によっては履修条件を課しているものもあるので、開設授業科目一覧とシラバスでよく確認すること。



(註) この他にも、他主専攻・他学類等が開設主体の科目で政治学主専攻の専門科目として履修できるものがある。詳細は開設授業科目一覧を参照。

1. 講義科目は、政治学の理論、思想、歴史、行政学、国際政治などをバランスよく、かつ基礎から応用まで段階的に学修することができるよう提供されている。原則として2単位・学期完結で実施する。
2. 政治学外書講読I・II（英語）は、政治学の英語文献を読みこなす能力を育成する授業であり、平成23年度以降入学者は1単位以上履修しなければならない。なお、科目名のIとIIは難易度・レベルを示すものではない。
3. 政治学入門演習は、政治学の基礎的な知識を学ぶとともに、3年次から履修する専門演習の準備段階として、文献講読やプレゼンテーションのトレーニングなどを行う。必修ではないが、政治学主専攻を志望する者は2年次に履修することが望ましい。
4. 各種の専門演習（政治学演習、比較政治学演習、国際政治学演習など）は、より専門性を深め自己の研究テーマについて探究するための授業であり、3年次・4年次の2年間にわたって計6単位以上を履修しなければならない。3年次に「演習 I」、4年次に「演習 II」を受講すること。同一名称の「演習 I」と「演習 II」を、同一年度中に同時に履修することはできない。3年次、4年次のいずれで4単位を修得してもよいが、「演習 I」を受講せず、「演習 II」から初めて受講する場合には、あらかじめ当該演習の担当教員の許可を得なければならない。

経済学主専攻について

1. 履修は、各自が入学した年度に配布された『履修要覧』に従わなければならない。ただし、編入学生の履修は、自分が入学した学年が1年生だった時の『履修要覧』に従う。履修要覧の「履修細則」と別表に従い、各自の関心と志望する主専攻分野に沿って、履修計画を自主的に立案しなければならない。
2. 後の履修ガイドは、すでに志望する主専攻分野を内定している学生を念頭において作成されている。したがって、まだ志望する主専攻分野を内定していない学生は、各主専攻分野の決定に必要な履修科目及び履修単位数、卒業に必要な履修科目及び履修単位数を考慮して、独自に履修計画を立案することが必要である。主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次のとおり。

主専攻分野の決定に必要な条件
単位数の総計が30単位数に達していること。 【専門科目及び専門基礎科目（経済学基礎論、現代経済史の4単位数を含む。）の12単位数を含む。】

3. 卒業に必要な条件（履修科目及び単位数）は入学時に配布された「履修要覧」に従うこと。なお、同一の学期・曜日・時限に開設される科目を2科目以上履修することはできない。
4. **名称が全く同一の科目は重複して履修できない。**
5. 履修申請の際には、申請漏れや変更がないように十分留意し、所定の期間内に手続きをすること。
6. 社会学類開設の授業科目のなかで、他学類開設の授業科目と共通の授業科目（開設授業科目一覧の備考欄に表示）は、必ず、社会学類の授業科目番号（例えばBB4）で履修申請を行うこと。

***平成25年度以前入学者に対する履修上の注意**

・経済学入門演習について。

平成25年度まで開講されていた経済学入門演習Ⅰ、経済学入門演習Ⅱは開講されない。平成26年度から、それぞれ科目名の最後にアラビア数字（1～3）が付いた経済学入門演習Ⅰ-2、経済学入門演習Ⅱ-2などが開設、開講される。アラビア数字が付いたこれらの科目は平成25年度までの経済学入門演習とは異なる科目である。また例えば、経済学入門演習Ⅰ-1と経済学入門演習Ⅰ-2など、アラビア数字が異なれば別の科目となる。

*** 平成24年度以前入学者に対する履修上の注意**

平成24年度以前の入学者は、以下にも十分留意すること。

①外国語経済書講読および経済学演習の履修について。

- ・平成25年度以降は、科目番号BB4□の□の桁が1ではなくなる。
- ・科目名の最後にアラビア数字（1～4）が付く（例：「経済学演習Ⅶ－1」）。このアラビア数字は、開設年度に合わせて変更される（例：「経済学演習Ⅶ－2」は、翌年度に「経済学演習Ⅶ－3」となる）。
- ・平成24年度以前の入学者が、平成25年度以降に開設される外国語経済書講読または経済学演習の単位を修得した場合、科目番号BB41の単位を修得したとみなし、その外国語経済書講読または経済学演習それぞれの科目の修得単位として、卒業単位に算入する。
- ・平成24年度以前に開設された外国語経済書講読、経済学特講、経済学演習（経済学入門演習を除く）の3科目については、履修年度が異なる限り別科目とみなし、2年以上にわたり重複して修得した単位を、卒業単位として認める。

②卒業論文の履修について。

- ・平成25年度以降は、科目番号がBB41998からBB48008となる。平成24年度以前の入学者が、平成25年度以降の卒業論文（科目番号BB48008）の単位を修得した場合、科目番号BB41の単位を修得したものとみなし、卒業論文の修得単位として、卒業単位に算入する。

③平成25年度以降の新規開設科目の科目番号の取扱いについて。

- ・外国語経済書講読と経済学演習の他に科目番号BB4□の□の桁が1ではない科目が新規開設され、その科目の単位を平成24年度以前の入学者が修得した場合、科目番号BB41の単位を修得したとみなして卒業単位に算入する。

④社会学類の他主専攻開設科目について。

- ・科目番号がBB1、BB2、BB3、で始まる他主専攻開設科目の単位を修得した場合、科目番号BB11、BB21、BB31、の単位を修得したとみなして卒業単位に算入する。

経済学主専攻 入学年度別 履修細則（別表）

平成27年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計					
											共 通 科 目					開 連 科 目													
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目		単位数				
経 済 学	—	—	ミクロ経済学	4	外国語経済書講読	0～8	経済学基礎論	2	法学概論	6	総合科目Ⅰ (リッジャマ・セナーを含む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	71	30	126			
			マクロ経済学				現代経済史	2	民法法概論						英語上級	0～1.5					B C B E E F G H W Y 8 9 9	0～16							
			経済統計論						政治学						専門英語基礎演習	0～1													
			経済数学		BB 4 (ただし、外国語経済書講読、経済学演習は除く。)	0～25			政治思想				総合科目Ⅱ *注7	5			英語以外の外国語	0～4.5											
			外国語経済書講読	4～8					政治外交史				総合科目Ⅲ	1			情報 (上級)	0～5											
			経済学演習	8～16					社会学基礎論				体育	2			第1外国語	4.5											
									現代社会論				第2外国語	4.5			国語	0～2											
			BB 4 (ただし、外国語経済書講読、経済学演習は除く。)	28～38	B C F H	0～4			B B 1 B B 2 B B 3	9	B A B B 1 B B 2 B B 3		情報	2			芸術	0～2											
			BEのうち別途指定する科目						BEのうち別途指定する科目		A C						総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (リッジャマ・セナーを除く)	0～1											
			BEのうち別途指定する科目																										
単位合計	0		56		0～25	4		15		0～25	21	0		0		0～19		0		0		0～16	25	71	30	126			

平成26年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目					専門基礎科目					基礎科目										計			合 計				
											共通科目					関連科目												
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目		単位数			
経済学	—	—	ミクロ経済学 マクロ経済学 経済統計論 経済数学	4	外国語経済書講読	0～8	経済学基礎論	2	法学概論 民法法概論	6	法学概論 民法法概論	0～25	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セナーを含む)	2	体育	0～2					教職に関する科目	0～8	25		71	30	126	
			経済学演習		BB4 (ただし、外国語経済書講読、経済学演習は除く。)	0～25		2	政治学 政治思想 政治外交史		政治学 政治思想 政治外交史		総合科目Ⅱ *注7	6	専門英語基礎演習	0～1					BC BE E G H W Y 8 9 9	0～16						
			外国語経済書講読	4～8					社会学基礎論 現代社会論		社会学基礎論 現代社会論		体育	2	英語以外の外国語	0～4.5												
			経済学演習	8～16									第1外国語	4.5	情報 (上級)	0～5												
													第2外国語	4.5														
			BB4 (ただし、外国語経済書講読、経済学演習は除く。)	28～38	BC FH	0～4			BB1 BB2 BB3	9	BA BB1 BB2 BB3		情報	2	国語	0～2	芸術	0～2										
			BEのうち別途指定する科目						BEのうち別途指定する科目		A C																	
単位合計	0		56		0～25	4		15		0～25	21	0		0		0～18		0		0		0～16	25	71	30	126		

平成25年度入学者

主 専 攻 分 野	卒 業 に 必 要 な 履 修 科 目 及 び 修 得 単 位 数																															
	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計								
											共 通 科 目					関 連 科 目																
	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目		単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	
経 済 学	—	—	ミクロ経済学 マクロ経済学 経済統計論 経済数学	4	0～8	経済学基礎論 現代経済史	2	法学概論 民法法概論	6	法学概論 民法法概論 政治学 政治思想 政治外交史 社会学基礎論 現代社会論	0～25	総合科目Ⅰ (ワークショップ・セミナーを含む)	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	71	30	126					
												総合科目Ⅱ *注7	6			英語上級	0～1.5					BC BE E F G H W Y 8 9 9	0～16									
			外国語経済書講読	4～8												専門英語基礎演習	0～1															
			外国語経済書講読	4～8									体育	2			英語以外の外国語	0～4.5														
			経済学演習	8～16									第1外国語	4.5			情報(上級)	0～5														
												第2外国語	4.5																			
												情報	2			国語	0～2															
																芸術	0～2															
	単位合計	0		56	0～25	4		15	0～25	21	0		0～18	0		0				0～16	25	71	30	126								

平成23・24年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目										計			合 計					
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	共 通 科 目					関 連 科 目					必修科目		単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数
													必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数							
経 済 学	—	—	ミクロ経済学 マクロ経済学 経済統計論 経済数学	4	外国語経済書講読	0~8	経済学基礎論	2	法学概論 民事法概論	6	法学概論 民事法概論	0~25	総合科目Ⅰ (7科目を含む)	2	—	—	体育	0~2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
							現代経済史	2	政治学 政治思想 政治外交史 社会学基礎論 現代社会論	9	政治学 政治思想 政治外交史 社会学基礎論 現代社会論		総合科目Ⅱ *注7	6			英語上級	0~1.5							BC BE E F G H W Y 8 9 9	0~16			
			外国語経済書講読	4~8									体育	2			英語以外の外国語	0~4.5											
			経済学演習	8~16									第1外国語	4.5			情報処理 (上級)	0~5											
												第2外国語	4.5			国語	0~2												
												情報処理	2			芸術	0~2												

平成22年度入学者

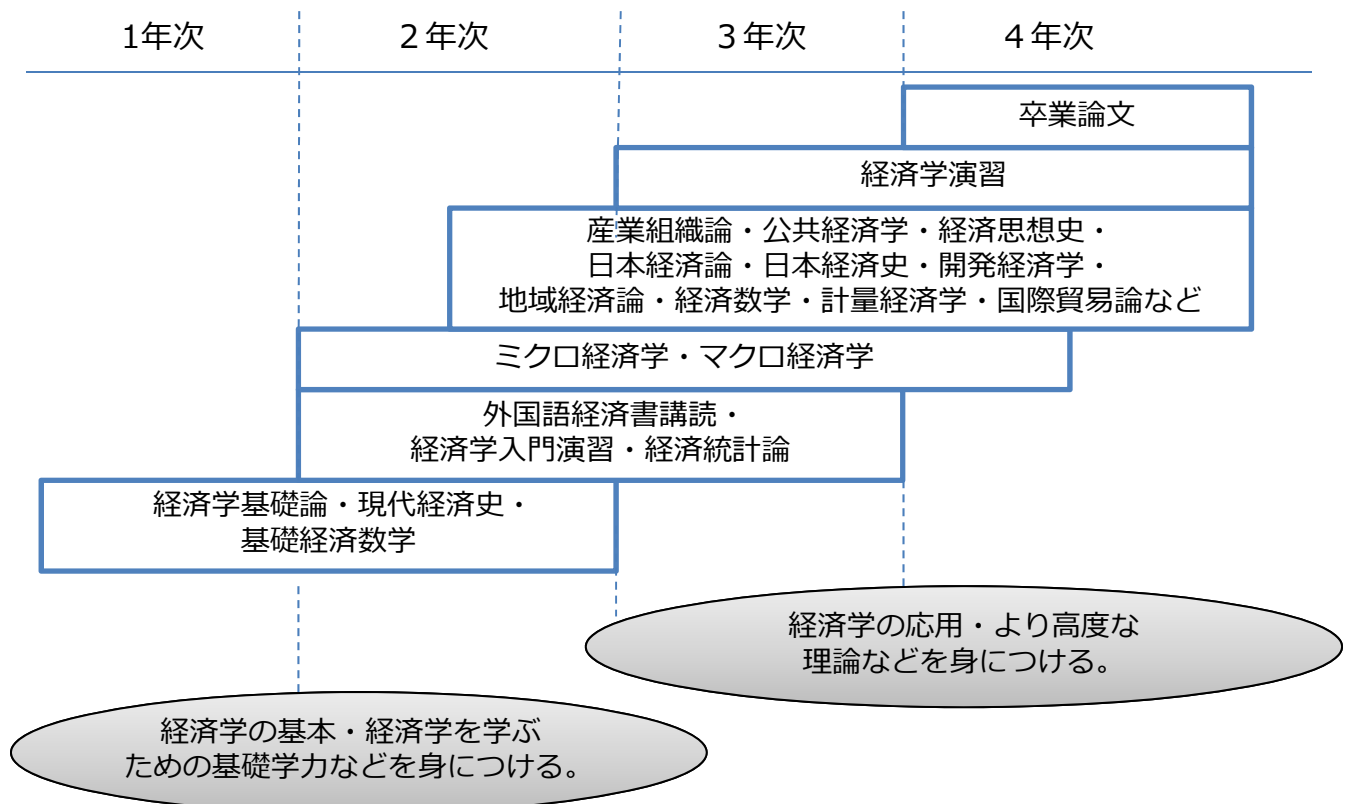
(社会学類)																														
主 専 攻 分 野	卒 業 に 必 要 な 履 修 科 目 及 び 修 得 単 位 数																													
	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目															計			合 計	
											共 通 科 目					関 連 科 目														
	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数	必修 科目	単位 数	選択 科目	単位 数	自由 科目	単位 数
経 済 学	—	—	シロ経済学 マクロ経済学 経済統計論 経済数学	4	外国語経済 書講読	0～8	経済学基 礎論	2	社会学基 礎論 現代社会 論	6	社会学基 礎論 現代社会 論	0～25	総合科目A	6	—	体育	0～2	—	—	—	教職に関する 科目	0～8	—	—	—	24	71	31	126	
						0～25		2					総合科目B	1		英語上級	0～1.5													
													体育	2		英語以外 の外国語	0～4.5													
			外国語経済 書講読	4～8									第1外国語	4.5		英語以外 の外国語	0～4.5													
			経済学演習	8～16									第2外国語	4.5		情報処理 (上級)	0～5													
			BB41(た だし、外国語 経済書講読、 経済学演習は 除く。)	28～38									情報処理	2		国語	0～2													
																	芸術	0～2												
	単位合計	0		56		0～25	4		15		0～25		20		0		0～17		0		0			0～16	24	71	31	126		

平成21年度入学者

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
主専攻分野	専 門 科 目					専 門 基 礎 科 目					基 礎 科 目												計			合 計			
											共 通 科 目					関 連 科 目													
	必修科目	単 位	選択科目	単 位	自由科目	単 位	必修科目	単 位	選択科目	単 位	自由科目	単 位	必修科目	単 位	選択科目	単 位	自由科目	単 位	必修科目	単 位	選択科目	単 位	自由科目	単 位	必修科目		単 位	選択科目	単 位
経 済 学	－	－	古典派経済学と近代経済学	4	外国語経済書講読	0～8	－	－	経済学原論入門	4	経済学原論入門	0～4	総合科目A	6	－	－	体育	0～2	－	－	－	－	教職に関する科目	0～8	20	75	31	126	
			中級ミクロ経済学		B B 41（ただし、外国語経済書講読、経済学演習、経済学原論入門、世界経済史入門、初級ミクロ経済学は除く。）	0～25			世界経済史入門		世界経済史入門		総合科目B	1			英語上級	0～1.5				BC	0～16						
			中級マクロ経済学						初級ミクロ経済学		初級ミクロ経済学		体育	2			英語以外の外国語	0～4.5				E							
			外国語経済書講読	4～8					初級マクロ経済学		初級マクロ経済学		第1外国語	4.5			情報処理（上級）	0～5				F							
			経済学演習	8～16					法学概論 政治学 社会学基礎論	2	法学概論 政治学 社会学基礎論	0～2	第2外国語	4.5			国語	0～2				G							
			B B 41（ただし、外国語経済書講読、経済学演習、経済学原論入門、世界経済史入門、初級ミクロ経済学は除く。）	28～38					B B 41以外の社会学類の専門科目	13	A C	0～12					芸術	0～2				H							
					B C F H	0～4					B B 41以外の社会学類の専門科目	0～12										W							
単位合計		0	56	0～25	0	19	0～25	20	0	0～17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0～16	20	75	31	126				

経済学主専攻 履修ガイド

履修の仕方としておすすめできるモデルケースを紹介します。



経済学の論理的思考法に基づいて、経済・社会問題を考察し、その処方箋を考える事ができる力を身につけることが到達目標です。

経済学は体系的な学問です。その体系を正確かつ深く学んでいくために、順次、段階的に学んでいくことがすすめられます。そのため、まず専門基礎科目（経済学基礎論・現代経済史）を履修し、経済学の基礎的な考え方を学びます。

数学や外国語の学力も、専門基礎科目（経済学基礎論・現代経済史）に続く専門的な科目を理解するためには必要です。そこで基礎経済数学、外国語経済書講読、経済統計論などを履修し、基礎学力を伸ばします。上級生（3年次以上）になると、経済学演習（通称、ゼミナール）が始まります。それぞれの演習で扱われる専門的な内容を理解していくためには、教員を交えて少人数で主体的に学ぶ姿勢と高度な学力が要求されます。このように要求される学習の姿勢や学力の基礎を、経済学入門演習でトレーニングしていきます。

経済学には様々な専門分野や応用分野があります。これらを2・3年次以降の講義科目（演習ではなく）として履修していきます。それらには、専門基礎科目よりも高度なミクロ経済学、マクロ経済学などの理論的な知識を基礎にした分野も多くあります。したがって、これらを2年次以降にしっかり履修し、順次、専門科目を履修していくことによって専門分野の学習効果が高まります。

3年次以上が履修できる経済学演習（ゼミナール）では、1・2年次に培った基礎知識や学力、理論的な思考力をベースとして、より高度で専門的な経済学の専門分野について、教員を交えた少人数で学生が主体的に学んでいきます。1・2年次の共通の知識の土台の上に、学生それぞれが自身の興味にそった専門分野を選択し、積極的に参加して知識を深めていくことが求められます。

必修科目ではありませんが、大学における各自の学習の集大成として、4年次には卒業論文の指導も受けることができます。（筑波大学 社会・国際学群 学群スタンダードをもとに作成）

(付録) 新旧対照表

社会学主専攻

平成25年度以降入学者用				平成24年度以前入学者用			
科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	科目番号	科目名	単位数	標準履修年次
BB11011	社会学基礎論	2.0	1・2	BB11011	社会学基礎論	2.0	1・2
BB11021	現代社会論	2.0	1・2	BB11021	現代社会論	2.0	1・2
				BB11031	社会の表象－社会学データ入門	2.0	1・2
BB11141	ジェンダー社会論	2.0	2～4	BB11141	ジェンダー社会論	2.0	2～4
BB11181	組織社会学	2.0	2～4	BB11181	組織社会学	2.0	2～4
BB11201	病いと死の社会学	2.0	2～4	BB11201	病いと死の社会学	2.0	2～4
BB11241	環境社会学	1.0	3	BB11331	環境社会学	2.0	2～4
BB11251	知識社会学	2.0	2～4	BB11251	知識社会学	2.0	2～4
BB11271	逸脱行動論-犯罪社会学I	2.0	2～4	BB11271	犯罪社会学I	2.0	2～4
BB11281	社会統制論-犯罪社会学II	2.0	2～4	BB11281	犯罪社会学II	2.0	2～4
BB11291	文化社会学	2.0	2～4	BB11291	文化社会学	2.0	2～4
BB11301	スポーツ文化論	2.0	2～4	BB11301	スポーツ文化論	2.0	2～4
				BB11341	差別の社会学	2.0	2～4
BB11361	歴史社会学	2.0	2～4	BB11361	歴史社会学	2.0	2～4
BB11401	コミュニケーション論	1.5	2・3	BB11481	コミュニケーション論A	1.0	2～4
BB11411	メディア・コミュニケーション論	1.5	2・3	BB11491	コミュニケーション論B	2.0	2～4
BB11451	文化・開発論	2.0	2・3	BB11451	文化・開発論	2.0	2・3
				BB11461	Population and Development	2.0	2～4
BB11471	スポーツ社会学	2.0	1	BB11471	スポーツ社会学	2.0	1
				BB11501	移民とエスニシティの社会学	2.0	2～4
BB11511	地域社会学	2.0	2～4				
BB11521	メディアと情報化の社会学	2.0	2～4	BB11521	メディアと情報化の社会学	2.0	2～4
BB11561	労働社会学	2.0	2～4	BB11561	労働社会学	2.0	2～4
BB11571	都市社会学	2.0	2～4	BB11571	都市社会学	2.0	2～4
BB11591	現代社会学の系譜	2.0	2～4	BB11591	現代社会学の系譜	2.0	2～4
BB11601	社会階層論	2.0	2～4	BB11601	社会階層論	2.0	2～4
BB11641	家族社会学	2.0	2～4	BB11151	家族社会学I	2.0	2～4
BB11661	教育社会学	2.0	2～4	BB11371	教育社会学I	2.0	2～4
BB11741	理論社会学I	2.0	2～4	BB11131	理論社会学	2.0	2～4
BB11751	理論社会学II	2.0	2～4				2～4
BB11761	ジャーナリズム論I	1.5	2～4	BB11551	印刷文化論	3.0	2～4
BB11771	ジャーナリズム論II	1.5	2～4				2～4
BB11781	情報文化概論I	1.5	1・2	BB11421	情報文化概論A	1.0	2
BB11791	情報文化概論II	1.5	1・2	BB11431	情報文化概論B	2.0	2
BB11932	社会学研究法I	1.0	2・3	BB11611	社会学研究法	2.0	2～4
BB11942	社会学研究法II	1.0	2・3				
BB11952	社会学研究法III	1.0	2・3				
BB11962	社会学外書講読I	1.0	2・3	BB11962	社会学外書講読I	1.0	2・3
BB11972	社会学外書講読II	1.0	2・3	BB11972	社会学外書講読II	1.0	2・3
BB11992	卒業論文演習	3.0	4	BB11992	卒業論文演習	3.0	4
BB11997	卒業論文演習	3.0	4				
BB11998	卒業論文	6.0	4	BB11998	卒業論文	6.0	4

法学専攻

平成25年度以降入学者用				平成24年度以前入学者用			
科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	科目番号	科目名	単位数	標準履修年次
BB20001	法学概論	2.0	1	BB21011	法学概論	2.0	1
BB20021	民事法概論	2.0	1	BB21031	民事法概論	2.0	1
BB22001	憲法Ⅰ	2.0	1・2	BB21111	憲法Ⅰ	2.0	1・2
BB22031	憲法Ⅱ	2.0	1・2	BB21121	憲法Ⅱ	2.0	1・2
BB22061	憲法Ⅲ	2.0	2・3	BB21131	憲法Ⅲ	2.0	2・3
BB22091	憲法特殊講義	2.0	2～4	BB21151	憲法特殊講義Ⅱ	2.0	2～4
BB22501	行政法Ⅰ	3.0	2・3	BB21211	行政法Ⅰ	3.0	2・3
BB22531	行政法Ⅱ	2.0	3・4	BB21221	行政法Ⅱ	2.0	3・4
				BB21231	行政法Ⅲ	1.0	3・4
				BB21251	地方自治法	1.0	3・4
BB23001	刑法Ⅰ	3.0	1	BB21721	刑法Ⅰ	3.0	1
BB23031	刑法Ⅱ	3.0	2・3	BB21731	刑法Ⅱ	3.0	2・3
BB23061	刑法Ⅲ	2.0	2・3	BB21741	刑法Ⅲ	2.0	2・3
BB23091	法社会学	1.0	2～4				
BB23121	ジェンダーと刑法	2.0	2～4	BB21791	ジェンダーと刑法	1.0	2～4
BB23111	ジェンダーと刑法	1.0	2～4				
BB23501	刑事訴訟法	3.0	3・4	BB21761	刑事訴訟法	3.0	3・4
BB23531	刑事政策	2.0	3・4	BB21781	刑事政策	2.0	3・4
BB24001	民法総則	2.0	2	BB21421	民法総則	2.0	2
BB24031	物権	2.0	2	BB21481	物権	2.0	2
BB24061	担保物権	2.0	3	BB21491	担保物権	2.0	3
BB24091	債権総論	2.0	2	BB21461	債権総論	2.0	3
BB24121	契約	2.0	1	BB21431	契約	2.0	1
BB24151	事務管理・不当利得・不法行為	2.0	2	BB21451	事務管理・不当利得・不法行為	2.0	2
BB24181	親族	2.0	2	BB21501	親族	2.0	2・3
BB24211	相続	2.0	2	BB21511	相続	2.0	3
BB24241	信託法	2.0	3・4	BB21531	信託法	2.0	3・4
BB25001	商法Ⅰ	2.0	2・3	BB21611	商法Ⅰ	2.0	2・3
BB25031	会社法Ⅰ	2.0	3・4	BB21621	会社法Ⅰ	2.0	3・4
BB25061	会社法Ⅱ	2.0	3・4	BB21641	会社法Ⅱ	2.0	3・4
BB25091	有価証券法基礎	1.0	2～4	BB21661	有価証券基礎	1.0	2～4
BB25121	電子記録債権法(電子手形)	1.0	2～4	BB21671	電子手形法	1.0	2～4
BB25151	金融商品取引法Ⅰ	1.0	3・4	BB21681	金融商品取引法Ⅰ	1.0	3・4
BB25181	金融商品取引法Ⅱ	1.0	3・4	BB21691	金融商品取引法Ⅱ	1.0	3・4
BB26001	民事訴訟法Ⅰ	2.0	2・3	BB21881	民事訴訟法Ⅰ	2.0	2・3
BB26031	民事訴訟法Ⅱ	2.0	3・4	BB21891	民事訴訟法Ⅱ	1.0	3・4
BB27001	労働法		3・4	BB21341	労働法	1.0	2～4

BB27031	社会保障法	2.0	3・4	BB21521	社会保障法	2.0	3・4
BB27501	裁判実務Ⅰ	2.0	2～4	BB21841	裁判実務Ⅰ	2.0	2～4
BB27531	裁判実務Ⅱ	2.0	2～4	BB21851	裁判実務Ⅱ	2.0	2～4
BB27561	法制史	2.0	3・4	BB21541	法制史	2.0	3・4
BB28001	国際法概論	2.0	1・2	BB21901	国際法概論	2.0	2・3
BB28031	国際法Ⅰ	2.0	2～4	BB21911	国際法Ⅰ	2.0	1・2
BB28031	国際法Ⅱ	2.0	2～4	BB21921	国際法Ⅱ	2.0	2～4
				BB21941	国際組織法	2.0	3・4
BB28301	国際民事訴訟法	2.0	3・4	BB21981	国際民事訴訟法	2.0	3・4
BB28502	法律外書講読Ⅰ(英語)	1.0	2～4	BB21912	法律外書講読Ⅰ	1.0	2～4
				BB21922	法律外書講読Ⅱ	1.0	2～4
BB28701	日本の裁判制度	1.0	2～4	BB21551	日本の裁判制度	1.0	2～4
BB28731	日本の犯罪学	1.0	2～4	BB21561	日本の犯罪学	1.0	2～4
BB28761	西洋法制史	2.0	3・4	BB21581	西洋法制史	1.0	3・4
BB28791	国際労働法	2.0	2～4	BB21931	国際労働法	2.0	2～4
BB28821	International Human Rights Law	2.0	2～4				
BB29002	憲法演習Ⅰ	2.0	2～4				
BB29012	憲法演習Ⅱ	2.0	2～4				
				BB21132	憲法演習Ⅲ	3.0	2～4
BB29122	行政法演習Ⅰ	2.0	3・4	BB21212	行政法演習Ⅰ	3.0	2～4
				BB21222	行政法演習Ⅱ	3.0	3・4
BB29182	刑法演習Ⅰ	4.0	2～4	BB21712	刑法演習Ⅰ	3.0	2～4
BB29192	刑法演習Ⅱ	4.0	2～4	BB21722	刑法演習Ⅱ	3.0	2～4
BB29242	刑事訴訟法演習Ⅰ	2.0	3・4	BB21732	刑事訴訟法演習Ⅰ	3.0	3・4
BB29252	刑事訴訟法演習Ⅱ	2.0	3・4	BB21732	刑事訴訟法演習Ⅰ	3.0	3・4
BB29262	刑事訴訟法演習Ⅲ	2.0	3・4				
BB29272	刑事訴訟法演習Ⅳ	2.0	3・4				
				BB21402	民法演習Ⅰ	3.0	2～4
BB29302	家族法演習Ⅰ	2.0	2～4	BB21412	民法演習Ⅱ	3.0	2～4
BB29312	家族法演習Ⅱ	2.0	2～4	BB21412	民法演習Ⅱ	3.0	2～4
?BB29322	家族法演習Ⅲ	2.0	2～4	BB21412	民法演習Ⅱ	3.0	2～4
?BB29332	家族法演習Ⅳ	2.0	2～4	BB21412	民法演習Ⅱ	3.0	2～4
BB29362	民法演習Ⅲ	4.0	3・4	BB21422	民法演習Ⅲ	3.0	3・4
BB29372	民法演習Ⅳ	4.0	3・4	BB21432	民法演習Ⅳ	3.0	3・4

BB29382	信託法演習	4.0	3・4	BB21502	信託法演習	3.0	3・4
BB29392	裁判技術論演習	4.0	3・4	BB21512	裁判技術論演習	3.0	3・4
BB29422	民法演習Ⅴ	2.0	3・4	BB21442	民法演習Ⅴ	3.0	3・4
BB29432	民法演習Ⅵ	2.0	3・4	BB21442	民法演習Ⅴ	3.0	3・4
BB29442	民法演習Ⅶ	2.0	3・4				
BB29452	民法演習Ⅷ	2.0	3・4				
				BB21492	民法特別演習	3.0	3・4
BB29482	商法演習Ⅰ	2.0	3・4	BB21612	商法演習Ⅰ	3.0	3・4
BB29492	商法演習Ⅱ	2.0	3・4	BB21612	商法演習Ⅰ	3.0	3・4
				BB21622	商法演習Ⅱ	3.0	3・4
BB29502	商法演習Ⅲ	2.0	3・4				
BB29512	商法演習Ⅳ	2.0	3・4				
				BB21752	民事訴訟法演習Ⅰ	3.0	3・4
BB29542	民事訴訟法演習Ⅰ	2.0	3・4	BB21762	民事訴訟法演習Ⅱ	3.0	3・4
BB29552	民事訴訟法演習Ⅱ	2.0	3・4	BB21762	民事訴訟法演習Ⅱ	3.0	3・4
BB29562	民事訴訟法演習Ⅲ	2.0	3・4				
BB29572	民事訴訟法演習Ⅳ	2.0	3・4				
BB29602	裁判実務演習Ⅰ	2.0	3・4	BB21772	裁判実務演習Ⅰ	3.0	3・4
BB29612	裁判実務演習Ⅱ	2.0	3・4				
BB29661	法教育演習Ⅰ	2.0	3・4				
BB29662	法教育演習Ⅱ	2.0	3・4				
BB29682	法思想史演習Ⅰ	3.0	2～4	BB21162	法思想史演習Ⅰ	3.0	2～4

※この表に掲載されていない科目でも、実質的に同一内容の科目として重複履修
ができないものもあるので、開設授業科目一覧の備考欄や掲示に注意すること。

政治学主専攻

平成25年度以降入学者用				平成24年度以前入学者用			
科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	科目番号	科目名	単位数	標準履修年次
BB31011	政治学	2.0	1・2	BB31011	政治学	2.0	1・2
BB31021	政治思想	2.0	1・2	BB31021	政治思想	2.0	1・2
BB31031	政治外交史	2.0	1・2	BB31031	政治外交史	2.0	1・2
BB31111	政治過程論	2.0	2～4	BB31111	政治過程論	2.0	2～4
				BB31121	政策過程論	2.0	2～4
BB31131	比較政治学	2.0	2～4	BB31131	比較政治学I	2.0	2～4
BB31141	アメリカの政治	2.0	2～4	BB31141	比較政治学II	2.0	2～4
BB31151	国際政治学	2.0	2～4	BB31151	国際政治学	2.0	2～4
BB31161	現代国際政治理論	2.0	3・4	BB31161	現代国際政治理論	2.0	3・4
BB31171	国際関係史序説	2.0	1・2	BB31171	国際関係史序説	2.0	1・2
BB31181	国際紛争論I	2.0	2～4	BB31181	国際紛争論I	2.0	2～4
BB31191	国際紛争論II	2.0	3・4	BB31191	国際紛争論II	2.0	3・4
				BB31221	都市政治学	2.0	3・4
BB31231	地方自治論	2.0	2～4	BB31231	地方自治論	2.0	2～4
BB31241	行政学	2.0	2～4	BB31241	行政学I	2.0	3・4
				BB31251	行政学II	2.0	3・4
BB31261	カナダ政治	2.0	2～4	BB31261	カナダ政治	2.0	2～4
BB31271	国際関係史	2.0	2・3	BB31271	国際関係史	2.0	2・3
BB31281	政治学特講I	2.0	2～4	BB31281	政治学特講I	2.0	2～4
BB31291	政治学特講II	2.0	2～4	BB31291	政治学特講II	2.0	2～4
BB31301	政治学特講III	2.0	2～4	BB31301	政治学特講III	2.0	2～4
BB31511	政治学特講IV	1.0	2～4				
BB31311	日本政治論	2.0	2～4	BB31311	日本政治論	2.0	2～4
BB31321	日本政治思想	2.0	2～4	BB31321	日本政治思想	2.0	2～4
BB31331	東洋政治思想	2.0	2～4	BB31331	東洋政治思想	2.0	2～4
BB31351	情報戦略と政治	2.0	2～4	BB31351	情報戦略と政治	2.0	2～4
BB31361	現代政治分析	2.0	2～4	BB31361	現代政治分析	2.0	2～4
BB31371	現代日本外交史	2.0	3・4	BB31371	現代日本外交史	2.0	3・4
BB31381	アメリカ外交史	2.0	2～4	BB31381	欧米政治外交史I	2.0	2～4
				BB31391	欧米政治外交史II	2.0	2～4
BB31401	現代政治外交I	2.0	2～4	BB31401	現代政治外交I	2.0	2～4
BB31411	現代政治外交II	2.0	2～4	BB31411	現代政治外交II	2.0	2～4
BB31431	ロシア・東欧の国際関係	2.0	2～4	BB31431	ロシア・東欧の国際関係	2.0	2～4
BB31441	ロシア政治	2.0	2～4	BB31441	ロシア政治	2.0	2～4
BB31451	アジアの国際関係	2.0	2～4	BB31451	アジアの国際関係	2.0	2～4
BB31461	アジア政治	2.0	2～4	BB31461	アジア政治	2.0	2～4
BB31491	計量分析入門	2.0	2～4	BB31491	計量分析入門	2.0	2～4
BB31501	国境を越える政治	2.0	2～4	BB31501	国境を越える政治	2.0	2～4

BB31102	政治学外書講読I(英語)	1.0	2・3	BB31102	政治学外書講読I(英語)	1.0	2・3
BB31502	政治学外書講読II(英語)	1.0	2・3	BB31502	政治学外書講読II(英語)	1.0	2・3
BB31998	卒業論文	6.0	4	BB31998	卒業論文	6.0	4
BB32122	政治学入門演習	2.0	2	BB31122	政治学入門演習	3.0	2
BB32132	政治学演習I	2.0	3	BB31132	政治学演習I	3.0	3・4
BB32142	政治学演習II	2.0	4	BB31142	政治学演習II	3.0	3・4
BB32152	比較政治学演習I	2.0	3	BB31152	比較政治学演習I	3.0	3・4
BB32162	比較政治学演習II	2.0	4	BB31162	比較政治学演習II	3.0	3・4
BB32172	国際政治学演習I	2.0	3	BB31172	国際政治学演習I	3.0	3・4
BB32182	国際政治学演習II	2.0	4	BB31182	国際政治学演習II	3.0	3・4
BB32192	現代政治外交演習I	2.0	3	BB31192	現代政治外交演習I	3.0	3・4
BB32202	現代政治外交演習II	2.0	4	BB31202	現代政治外交演習II	3.0	3・4
				BB31212	行政学演習I	3.0	3・4
				BB31222	行政学演習II	3.0	3・4
BB32232	東洋政治思想演習I	2.0	3	BB31232	東洋政治思想演習I	3.0	3・4
BB32242	東洋政治思想演習II	2.0	4	BB31242	東洋政治思想演習II	3.0	3・4
BB32252	アメリカ外交史演習I	2.0	3	BB31252	欧米政治外交史演習I	3.0	3・4
BB32262	アメリカ外交史演習II	2.0	4	BB31262	欧米政治外交史演習II	3.0	3・4
BB32272	現代政治分析演習I	2.0	3	BB31272	現代政治分析演習I	3.0	3・4
BB32282	現代政治分析演習II	2.0	4	BB31282	現代政治分析演習II	3.0	3・4
BB32312	計量分析演習I	2.0	3				
BB32322	計量分析演習II	2.0	4				
BB32332	国境を越える政治演習I	2.0	3				
BB32342	国境を越える政治演習II	2.0	4				

経済学主専攻

平成25年度以降入学者用				平成24年度以前入学者用			
科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	科目番号	科目名	単位数	標準履修年次
BB41051	経済学基礎論	2.0	1・2	BB41051	経済学基礎論	2.0	1・2
BB41061	現代経済史	2.0	1・2	BB41061	現代経済史	2.0	1・2
				BB41121	古典派経済学と近代経済学	2.0	2～4
BB41101	基礎経済数学	2.0	1・2	BB41101	基礎経済数学	2.0	1・2
BB41131	ミクロ経済学	2.0	2～4	BB41131	ミクロ経済学	2.0	2～4
BB41141	マクロ経済学	2.0	3・4	BB41141	マクロ経済学	2.0	3・4
				BB41151	経済変動論	2.0	3・4
BB41181	公共政策分析	2.0	2～4	BB41181	公共政策分析	2.0	2～4
BB41211	経済統計論	2.0	2～4	BB41211	経済統計論	2.0	2～4
				BB41221	ファイナンス入門	2.0	2～4
BB41271	公共経済学	2.0	2～4	BB41271	公共経済学	2.0	2～4
BB41281	産業組織論	2.0	3・4	BB41281	産業組織論	2.0	3・4
				BB41291	国際経済学	2.0	2～4
BB41301	経済数学	2.0	1～4	BB41301	経済数学	2.0	1～4
BB41321	経済思想史I	2.0	2～4	BB41321	経済思想史I	2.0	2～4
BB41331	経済思想史II	2.0	2～4	BB41331	経済思想史II	2.0	2～4
BB41341	計量経済学	2.0	2～4	BB41341	計量経済学	2.0	2～4
BB41361	日本経済論	2.0	2～4	BB41361	日本経済論	2.0	2～4
BB41371	ヨーロッパ社会経済史	2.0	2～4	BB41371	ヨーロッパ社会経済史	2.0	2～4

BB41381	比較経済論	2.0	2～4	BB41381	比較経済論	2.0	2～4
BB41391	日本経済史	2.0	2～4	BB41391	日本経済史	2.0	2～4
BB41401	開発途上国における諸問題	2.0	2～4	BB41401	開発途上国における諸問題	2.0	2～4
BB41411	地域経済論	2.0	2～4	BB41411	地域経済論	2.0	2～4
BB41421	開発経済学	2.0	2～4	BB41421	開発経済学	2.0	2～4
BB41441	都市経済学	2.0	2～4	BB41441	空間と交通の経済学	2.0	2～4
BB41501	世界経済史入門	2.0	1～4	BB41501	世界経済史入門	2.0	1～4
BB41521	財政学	2.0	2～4	BB41491	財政学	2.0	2～4
				BB41531	国際金融史	2.0	2～4
BB41541	Economic History	2.0	2～4	BB41541	Economic History	2.0	2～4
BB41601	国際貿易論	2.0	2～4	BB41601	国際貿易論	2.0	2～4
BB41712	経済学入門演習I	2.0	1～3	BB41712	経済学入門演習I	2.0	1～3
BB41722	経済学入門演習II	2.0	1～3	BB41722	経済学入門演習II	2.0	1～3
BB41752	経済学入門演習 I -2	2.0	1～3	BB41752	経済学入門演習 I -2	2.0	1～3
BB41772	経済学入門演習 II -2	2.0	1～3	BB41772	経済学入門演習 II -2	2.0	1～3
				BB41922	外国語経済書講読II(英語)	2.0	2～4
				BB41932	外国語経済書講読III(英語)	2.0	2～3
				BB41942	外国語経済書講読IV(英語)	2.0	2～4
				BB41822	経済学演習II	4.0	3・4
				BB41842	経済学演習IV	4.0	3・4
				BB41852	経済学演習V	4.0	3・4
				BB41862	経済学演習VI	4.0	3・4
				BB41882	経済学演習VIII	4.0	3・4
				BB41902	経済学演習X	4.0	3・4
BB42422	外国語経済書講読II-3(英語)	2.0	2～4	BB42422	外国語経済書講読II-3(英語)	2.0	2～4
BB42522	外国語経済書講読III-3(英語)	2.0	2～4	BB42522	外国語経済書講読III-3(英語)	2.0	2～4
BB43322	経済学演習II-3	4.0	3・4	BB43322	経済学演習II-3	4.0	3・4
BB43352	経済学演習V-3	4.0	3・4	BB43352	経済学演習V-3	4.0	3・4
BB43362	経済学演習VI-3	4.0	3・4	BB43362	経済学演習VI-3	4.0	3・4
BB43372	経済学演習VII-3	4.0	3・4	BB43372	経済学演習VII-3	4.0	3・4
BB43382	経済学演習VIII-3	4.0	3・4	BB43382	経済学演習VIII-3	4.0	3・4
BB44302	経済学演習X-2	4.0	3・4	BB44302	経済学演習X-2	4.0	3・4
				BB41998	卒業論文	6.0	3・4
BB48008	卒業論文	6.0	4	BB48008	卒業論文	6.0	4